

愛知県美術館年報

目次

収集・保存・管理

1 収 集	4
収集方針	
収集委員会	
収集の状況	
新収蔵作品	
収集作品一覧 購入受贈	
寄託	
美術品等取得基金について	
2 保 存	11
保存事業の実施状況	
3 管 理	12
作品の管理	
作品の貸出	
貸出の概要	

展示・教育普及

1 所蔵作品展	13
展示の概要	
所蔵作品展の開催状況と入場者数	
所蔵作品展 展示作品リスト	
特集展示	
テーマ展（小企画展）	
移動美術館	
フォーラムプロジェクトなど	
2 企画展	32
企画展の入場者数	
企画展の開催状況	
3 教育普及	43
出版・発行	
講演会・講座・シンポジウム等	
展示説明会（ギャラリートーク）	
各種プログラムなど	
先生方との鑑賞学習交流会	
児童・生徒を対象としたプログラム	
視覚に障害のある人を対象としたプログラム	
団体鑑賞への対応（学校・一般）	
博物館実習生の受入れと指導	
美術館研修生の受入れと指導	
友の会への運営協力	

調査研究	53
調査・研究	

ギャラリー（貸館）	55
利用状況	
利用団体一覧	

組織・職員構成	59
---------	----

関係委員会名簿	60
---------	----

1 収集

収集方針

- ・20世紀の優れた国内外の作品及び20世紀の美術動向を理解する上で役立つ作品
- ・現在を刻印するにふさわしい作品
- ・愛知県としての位置をふまえた特色あるコレクションを形成する作品
- ・上述の作品・作家を理解する上で役立つ資料

収集委員会（委員会名簿は60頁）

開催日：第1回 平成20年6月

（持ち回り開催、片岡球子作品受贈について）

第2回 平成20年11月13日

収集の状況

- ・上記の収集方針にそって7点の作品を購入し、18点の作品の寄贈を受け、合計25点の作品を新たに収集した。受贈品のうち木村美保子氏からの熊谷守一1点は木村定三コレクションに組み込まれた。

美術品等収集状況

種 別	購 入		寄 贈
	点 数	金 額 (円)	点 数
日 本 画	0	0	18
洋 画	6	49,300,000	0
立 体	0	0	0
版 画	0	0	0
水彩・素描	0	0	0
写 真	1	1,500,000	0
インスタレーション	0	0	0
工 芸	0	0	0
計	7	税込 50,800,000	18

所蔵作品全体の状況（平成21年3月末現在）

	点数
所蔵作品	2,650点
藤井達吉 コレクション	1,460点
木村定三 コレクション	3,285点
合 計	7,395点

新収蔵作品

平成11（1999）年度に基金による購入が原則凍結されて以降、収集方針に則した中心的な作品の購入は難しくなっていたが、平成14（2002）年度に限定的ながらも基金執行の凍結解除を受けて以降は現代の美術を中心にコレクション充実に努め、平成16（2004）年度から年間購入枠の拡大を働きかけてきた結果、平成19（2007）年度から平成21（2009）年度の3ヵ年で陶磁資料館と合わせ1億2千万円の基金執行が可能となった。

平成20（2008）年度は、基金凍結後収集が進んでいなかった日本近代洋画として安井曾太郎の初期作品と、1990年代から2007年に及ぶ現代の動向を示す絵画など、6作家の7点を購入した。また、作家やその遺族、収集家などから3作家18点の寄贈を受けた。特に愛知県立芸術大学日本画科の初代主任教授を務めた故片岡球子氏遺族からは13点の寄贈を受けた。

収集作品一覧

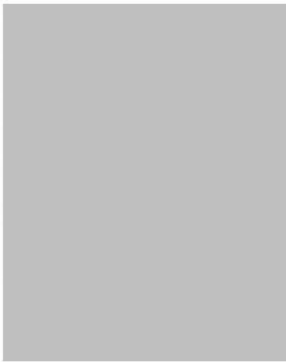
2008（平成20）年度 購入作品（7点）

1 洋画
安井曾太郎 1888-1955
パンと肉
1910年 油彩、画布 31.8×39.2cm



YASUI Sotaro
Bread and Meat
1910 oil on canvas 31.8×39.2cm
JO200800001000

2 洋画
横尾忠則 1936-
浪漫主義者の接吻
1986年 油彩、画布 227.3×181.8cm



YKOO Tadanori
Kiss of a Romanticist
1986 oil on canvas 227.3×181.8cm
JO200800002000

3、4 洋画
吉田克朗 1943-1999
触 “湖底-13”、触 “湖底-14”（2点一組）
1992年 油彩、アクリル、黒鉛、画布
194.0×259.0cm



YOSHIDA Katsuro
Tactile “Bottom of the Lake 13”
1992 oil, acylic and carbon on canvas
194.0×259.0cm
JO200800003001
Tactile “Bottom of the Lake 14”
1992 oil, acylic and carbon on canvas
194.0×259.0cm
JO200800003002

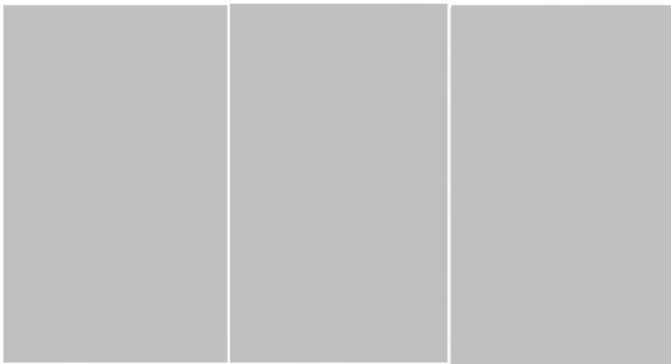
5 洋画
野田裕示 1952-
WORK-984
1995年 アクリル、画布 181.8×259.1cm



NODA Hiroji
WORK-984
1995 acrylic on canvas 181.8×259.1cm
JO200800004000

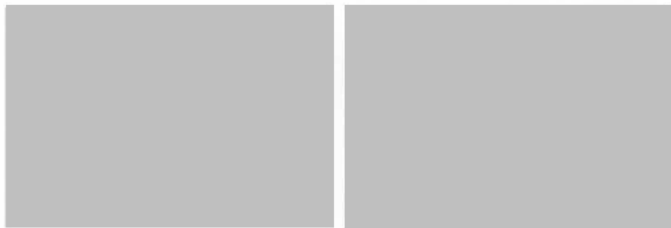
6 洋画
中上 清 1949-
無題（3点組）
2007年 アクリル、画布 227.7×145.5cm

NAKAGAMI Kiyoshi
No titled
2007 acrylic on canvas 227.7×145.5cm
JO200800005000



7 写真
大辻清司 1923-
eyewitness（57点ポートフォリオ）
1955～70年 ゼラチン・シルヴァー・プリント、バライタ紙
各25.5×20.0cm（横版シートサイズ）
20.0×25.5cm（縦版シートサイズ）

OTSUJI Kiyoji
eyewitness
1955-70 gelatin silver print on Baryta paper 25.5×20.0cm eachcm
JF200800001000



1 バレエ実験劇場「未来のイヴ」
1955年3月
JF200800001000-01

2 バレエ実験劇場「未来のイヴ」
1955年3月
JF200800001000-02



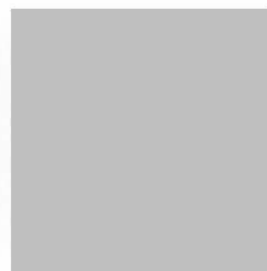
3 バレエ実験劇場「未来のイヴ」の舞台模型
1955年3月
JF200800001000-03



4 バレエ実験劇場「イルミナシオン」
1955年3月
JF200800001000-04



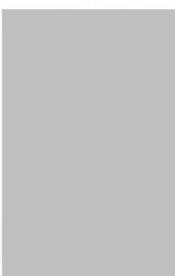
13 円形劇場形式による創作劇の夕
「現代能・綾の鼓」
1955年12月
JF200800001000-13



14 オートスライド作品を制作する
実験工房メンバー
1953年
JF200800001000-14



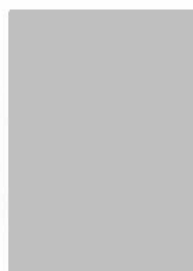
5 バレエ実験劇場「乞食王子」
1955年3月
JF200800001000-05



6 円形劇場形式による創作劇の夕
「月に憑かれたピエロ」
1955年12月
JF200800001000-06



15 ミシェル・タビエと瀧口修造
1957年
JF200800001000-15



16 瀧口修造（浦安にて）
1957年冬
JF200800001000-16



7 円形劇場形式による創作劇の夕
「月に憑かれたピエロ」
1955年12月
JF200800001000-07



8 円形劇場形式による創作劇の夕
「月に憑かれたピエロ」
1955年12月
JF200800001000-08



17 斎藤義重、瀧口修造、山口勝弘（浦安にて）
1957年冬
JF200800001000-17



18 山口勝弘（フロッタージュ制作中）
1959年
JF200800001000-18



9 円形劇場形式による創作劇の夕
「月に憑かれたピエロ」
1955年12月
JF200800001000-09



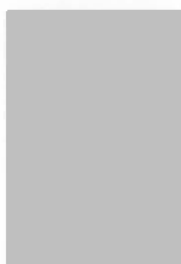
10 円形劇場形式による創作劇の夕
「月に憑かれたピエロ」
1955年12月
JF200800001000-10



19 北代省三（モバイル制作中）
1950年代
JF200800001000-19



20 講演する岡本太郎
1950年代
JF200800001000-20



11 円形劇場形式による創作劇の夕
「月に憑かれたピエロ」
1955年
JF200800001000-11



12 円形劇場形式による創作劇の夕
「月に憑かれたピエロ」
1955年
JF200800001000-12



21 岡本太郎（壁画原型を制作中）
1956年
JF200800001000-21



22 ジョルジュ・マチウと岡本太郎
1957年
JF200800001000-22



23 ジョルジュ・マチウ
(勅使河原蒼風邸で制作中)
1957年
JF200800001000-23



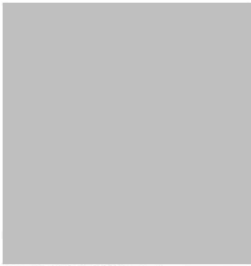
24 勅使河原蒼風
1958年頃
JF200800001000-24



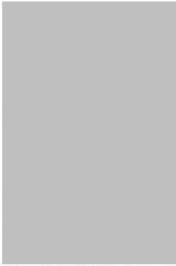
33 土方異、大野慶人ら
(津田舞踊塾で「禁色」他を稽古中)
1959年5月
JF200800001000-33



34 武満徹 (《アーク (弧)》レコーディング中)
1966年
JF200800001000-34



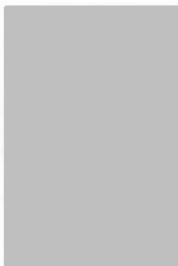
25 勅使河原蒼風
1958年頃
JF200800001000-25



26 勅使河原蒼風
1958年頃
JF200800001000-26



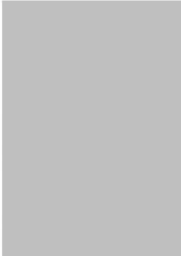
35 武満徹 (《アーク (弧)》レコーディング中)
1966年
JF200800001000-35



36 武満徹 (《アーク (弧)》レコーディング中)
1966年
JF200800001000-36



27 土方異、大野慶人ら
(津田舞踊塾で「禁色」他を稽古中)
1959年5月
JF200800001000-27



28 土方異、大野慶人ら
(津田舞踊塾で「禁色」他を稽古中)
1959年5月
JF200800001000-28



37 「クロス・トーク/インターメディア」
水野修孝、湯浅譲二、サルバトーレ・マルティ
ラーノ他
1969年
JF200800001000-37



38 「クロス・トーク/インターメディア」
ロバート・アシュレー
1969年
JF200800001000-38



29 土方異、大野慶人ら
(津田舞踊塾で「禁色」他を稽古中)
1959年5月
JF200800001000-29



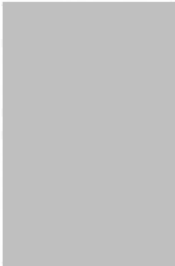
30 土方異、大野慶人ら
(津田舞踊塾で「禁色」他を稽古中)
1959年5月
JF200800001000-30



39 「クロス・トーク/インターメディア」
ゴードン・ムンマ
1969年
JF200800001000-39



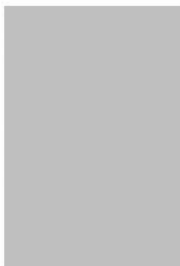
40 「クロス・トーク/インターメディア」
ロジャー・レイノルズ
1969年
JF200800001000-40



31 土方異、大野慶人ら
(津田舞踊塾で「禁色」他を稽古中)
1959年5月
JF200800001000-31



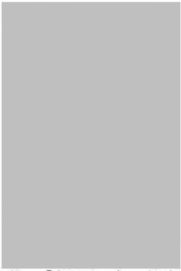
32 土方異、大野慶人ら
(津田舞踊塾で「禁色」他を稽古中)
1959年5月
JF200800001000-32



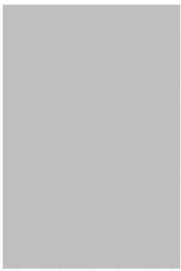
41 「クロス・トーク/インターメディア」
一柳 慧
1969年
JF200800001000-41



42 「クロス・トーク/インターメディア」
カレン・レイノルズ
1969年
JF200800001000-42



43 「クロス・トーク／インターメディア」
1969年
JF200800001000-43



44 「クロス・トーク／インターメディア」
1969年
JF200800001000-44



53 バリー・フラナガン『第10回日本国際美術展 Tokyo biennale '70 人間と物質』
1970年
JF200800001000-53



54 河口龍夫、堀川紀夫『第10回日本国際美術展 Tokyo biennale '70 人間と物質』
1970年
JF200800001000-54



45 「クロス・トーク／インターメディア」サルバトーレ・マルティラーノ「LのG・A」
1970年
JF200800001000-45



46 カール・アンドレ『第10回日本国際美術展 Tokyo biennale '70 人間と物質』
1970年
JF200800001000-46



55 小清水漸『第10回日本国際美術展 Tokyo biennale '70 人間と物質』
1970年
JF200800001000-55



56 ケイス・ソニア『第10回日本国際美術展 Tokyo biennale '70 人間と物質』
1970年
JF200800001000-56



47 ライナー・ルッテンベック『第10回日本国際美術展 Tokyo biennale '70 人間と物質』
1970年
JF200800001000-47



48 松沢宥『第10回日本国際美術展 Tokyo biennale '70 人間と物質』
1970年
JF200800001000-48



57 ジルベルト・ソリオ『第10回日本国際美術展 Tokyo biennale '70 人間と物質』
1970年
JF200800001000-57



49 ヤニス・クネリス『第10回日本国際美術展 Tokyo biennale '70 人間と物質』
1970年
JF200800001000-49



50 ソル・ルウィット『第10回日本国際美術展 Tokyo biennale '70 人間と物質』
1970年
JF200800001000-50



51 クリスト『第10回日本国際美術展 Tokyo biennale '70 人間と物質』
1970年
JF200800001000-51



52 ディートリッヒ・アルブレヒト『第10回日本国際美術展 Tokyo biennale '70 人間と物質』
1970年
JF200800001000-52

受贈作品（18点）

8 日本画

片岡球子 1905-2008

面構 葛飾北斎・澁澤馬琴

1979年 二曲一隻、紙本着色 183.0×223.0cm

作家遺贈（片岡確子氏寄贈）

KATAOKA Tamako

Countenance: Katsushika Hokusai and Takizawa

Bakin

1979 color on paper 183.0×223.0cm

JJ200800001000



9 日本画

片岡球子 1905-2008

裸婦Ⅰ

1985年 額装、紙本着色 82.0×127.0cm
作家遺贈（片岡雍子氏寄贈）

KATAOKA Tamako

Nude I

1985 color on paper 82.0×127.0cm
JJ200800002000



10 日本画

片岡球子 1905-2008

裸婦Ⅱ

1985年 額装、紙本着色 40.0×120.5cm
作家遺贈（片岡雍子氏寄贈）

KATAOKA Tamako

Nude II

1985 color on paper 40.0×120.5cm
JJ200800003000



11 日本画

片岡球子 1905-2008

裸婦Ⅲ

1985年 額装、紙本着色 40.0×120.5cm
作家遺贈（片岡雍子氏寄贈）

KATAOKA Tamako

Nude III

1985 color on paper 40.0×120.5cm
JJ200800004000



12 日本画

片岡球子 1905-2008

くつろぎⅠ

1986年 額装、紙本着色 73.0×81.0cm
作家遺贈（片岡雍子氏寄贈）

KATAOKA Tamako

Relaxation I

1986 color on paper 73.0×81.0cm
JJ200800005000



13 日本画

片岡球子 1905-2008

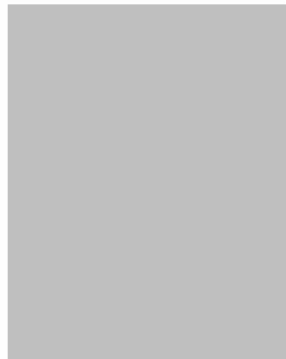
くつろぎⅡ

1986年 額装、紙本着色 91.0×72.0cm
作家遺贈（片岡雍子氏寄贈）

KATAOKA Tamako

Relaxation II

1986 color on paper 91.0×72.0cm
JJ200800006000



14 日本画

片岡球子 1905-2008

くつろぎⅢ

1986年 額装、紙本着色 72.5×91.0cm
作家遺贈（片岡雍子氏寄贈）

KATAOKA Tamako

Relaxation III

1986 color on paper 72.5×91.0cm
JJ200800007000



15 日本画

片岡球子 1905-2008

裸婦ひとときⅠ

1987年 額装、紙本着色 90.0×115.5cm
作家遺贈（片岡雍子氏寄贈）

KATAOKA Tamako

Nude a moment I

1987 color on paper 90.0×115.5cm
JJ200800008000



16 日本画

片岡球子 1905-2008

裸婦ひとときⅡ

1987年 額装、紙本着色 90.0×115.5cm
作家遺贈（片岡雍子氏寄贈）

KATAOKA Tamako

Nude a moment II

1987 color on paper 90.0×115.5cm
JJ200800009000



17 日本画

片岡球子 1905-2008

裸婦

1988年 額装、紙本着色 72.5×91.0cm
作家遺贈（片岡雍子氏寄贈）

KATAOKA Tamako

Nude

1988 color on paper 72.5×91.0cm
JJ200800010000



18 日本画

片岡球子 1905-2008

裸婦

1989年 額装、紙本着色 65.5×91.0cm
作家遺贈（片岡雍子氏寄贈）

KATAOKA Tamako

Nude

1989 color on paper 65.5×91.0cm
JJ200800011000



19 日本画
片岡球子 1905-2008
裸婦
1989年 額装、紙本着色 72.5×90.5cm
作家遺贈（片岡雅子氏寄贈）

KATAOKA Tamako
Nude
1989 color on paper 72.5×90.5cm
JJ200800012000



24 日本画
大森運夫 1917-
スバシ故城
1995年 紙本着色 106.7×159.7cm
作者寄贈

OMORI Kazuo
Subashigucheng
1995 color on paper 106.7×159.7cm
JJ200800017000



20 日本画
片岡球子 1905-2008
裸婦
1996年 額装、紙本着色 72.7×81.0cm
作家遺贈（片岡雅子氏寄贈）

KATAOKA Tamako
Nude
1996 color on paper 72.7×81.0cm
JJ200800013000



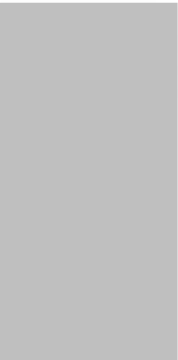
25 日本画
大森運夫 1917-
ロマネスク讃
2003年 紙本着色 227.3×181.8cm
作者寄贈

OMORI Kazuo
Homage to Romanesque
2003 color on paper 227.3×181.8cm
JJ200800018000



21 日本画
熊谷守一 1880-1977
寒山（拾得在何処）
1958年 紙本墨画淡彩 69.3×33.0cm
木村美保子氏寄贈

KUMAGAI Morikazu
Hanshan
1958 ink and color on paper 69.3×33.0cm
JJ200800014000



寄託

平成20年度には新たに7件78点の寄託を受けた。

寄託品の状況（平成21年3月末現在）

分類	点数
日本画	47
洋画	123
立体	78
版画	100
水彩・素描	79
写真	84
資料	14
計	46件525点

美術品等取得基金について

愛知県美術館と愛知県陶磁資料館が、芸術的価値の高い美術品等を機動的、継続的に収集するための財源として昭和63（1988）年4月に設置された。基金には、県からの積立金のほかに、美術品等の収集を支援する民間からの寄付金が含まれている。

運用状況（平成21年3月末現在）

基金総額		111億9,228万3,982円
運用内訳	美術品	95億9,951万1,130円 (1,353点)＊
	現金	15億9,277万2,852円

＊内、美術館所蔵作品は708点

2 保存

保存事業の実施状況

前年度に引き続き、所蔵作品および木村定三コレクションの作品を中心に、公開準備のため、調査と保存処置を行った。

○所蔵作品の状態調査と保存処置等

保存処置を外部で行なったものは、下記の通り。

2008（平成20）年度 外部委託による保存処置作品一覧

No.	作家名 時代	作品名 (技法材料)	種別	処置前の状態	処置内容	処置者
1	モーリス・ルイス 1960-1961	デルタ・ミュー (樹脂絵具・画布)	洋画	平面性の欠落、サジジング	クリーニング、 ストリップライニング、 木枠の取替え	岩井喜久子 (貸出にとも なう処置)
2	竹田大助 1955年	黎明同期 (油彩・板)	洋画	作品の変形（接統不良）、 汚損、腐食	バックパネルの取付、 額の洗浄、繕修	A C S 佐藤、 黒川亮子 (館内処置)
3	宮田重雄 1930年頃	巴里・サンルイ病院裏 (油彩・板)	洋画	剥離、剥落、汚れ、他	クリーニング、剥落止め、 充填、補彩、額の改造	浅井千晴 (館内処置)
4	伊藤若冲 18世紀後半	菊に双鶴図 (紙本墨画)	日本画	虫損、のり離れ、	本格修理 (打ち替え)	桂文化財修理所 2ヵ年事業
5	伊藤若冲 1791年（寛政3）	六歌仙図 (紙本墨画)	書跡	虫損、のり離れ、	本格修理 (打ち替え)	桂文化財修理所 2ヵ年事業
6	伊藤若冲 18世紀後半	伏見人形図 (紙本着色)	日本画	剥離・剥落、汚れ、 虫損、他	本格修理 (打ち替え)	桂文化財修理所 2ヵ年事業
7	曾我蕭白 18世紀後半	寒山拾得図 (紙本墨画)	日本画	虫損、のり離れ、	本格修理 (打ち替え)	山口墨仁堂 2ヵ年事業
8	風外慧薫 16世紀後半－17世紀	指月布袋図 (紙本墨画)	日本画	虫損、のり離れ、	本格修理 (打ち替え)	山口墨仁堂 2ヵ年事業
9	風外慧薫 16世紀後半－17世紀	半身達磨図 (紙本墨画)	日本画	虫損、のり離れ、	本格修理 (打ち替え)	山口墨仁堂 2ヵ年事業
10	英一蝶 18世紀前半	王子喬図 (絹本着色)	日本画	虫損、のり離れ、	本格修理 (打ち替え)	山口墨仁堂 2ヵ年事業
11	鳥文斎栄之 19世紀前半（文化－文政頃）	楊貴妃図 (絹本着色)	日本画	虫損、のり離れ、	本格修理 (打ち替え)	山口墨仁堂 2ヵ年事業
12	英一蝶 18世紀前半	朝顔に日傘図 (紙本着色)	日本画	虫損、のり離れ、	本格修理 (打ち替え)	山口墨仁堂 2ヵ年事業
13	呉春 18世紀末－19世紀初	急須に燭台図 (紙本墨画)	日本画	虫損、のり離れ、	本格修理 (打ち替え)	山口墨仁堂 2ヵ年事業
14	中林竹洞 1833年（天保4）	梅花書屋図 (絹本墨画淡彩)	日本画	虫損、のり離れ、	本格修理 (打ち替え)	山口墨仁堂 2ヵ年事業
15	呉春 18世紀末－19世紀初	蛙図扇面 (紙本墨画)	日本画	虫損、のり離れ、	本格修理 (打ち替え)	山口墨仁堂 2ヵ年事業
16	烏丸光廣 17世紀	伊勢物語 (墨、紙)	書跡	欠失、汚損、折れ、 綴糸の劣化	本格修理 (解体修理)	岡墨光堂 2ヵ年事業
17	烏丸光廣 1602年	つれづれ草、上下 (墨、紙)	書跡	汚損、折れ、綴糸の劣化	本格修理 (解体修理)	岡墨光堂 2ヵ年事業

○外部委託による詳細状態調査

・木村定三コレクションの日本画、彫刻、工芸、書跡等 245点について、外部専門家に詳細状態調査を委託した。

依頼先：J C P 特定非営利活動法人 文化財保存支援機構
奈良文化財修理所合同調査 奈良国立博物館修理所内3工房
明舎

○保存環境の整備等

エスコ事業の一環として、空気調和設備の制御ソフトの交換が行われ、今までとは異なる環境となった。経過を観察した後、一部を除き旧システムに戻した。

収蔵庫内の環境改善のために、友の会のサポート活動による収蔵用具の製作などを行った。

地震対策として、収蔵庫内の棚の連結などに関する対策を終了した。

3 管理

所蔵作品の管理状況

作品の管理

- ・平成17年度からの年次計画を基に、備品台帳と所蔵作品リスト、作品カードとの照合整理を行い、現品確認作業を実施した。
- ・平成16年度から3ヵ年計画で行ってきた木村定三コレクション調査整理事業および平成18年度から5ヵ年計画で実施している同コレクションの研究保存事業の一環として、シンポジウム、部門別図録の製作、研究紀要の作成等を行い、同コレクションの県民への公開に努めた。

作品の貸出

国内外の美術館等からの所蔵作品の貸出要請に対して、作品の保存状態が良好で、所蔵作品展の展示計画に支障がないものについて、展覧会の内容やその意義を勘案し、展示施設・設備の状況を確認した上で、所蔵作品貸出要領に則し貸出を行った。また、このような館外への貸出も所蔵作品公開の機会と位置づけ、各会場での入場者状況を調査した。

貸出の概要（貸出期間開始日 平成20年4月1日～平成21年3月31日）

貸出先		件数	点数	総入場者数（うち小中生）※
国内	美術館・博物館	43件	300点	1,763,308人（56,104人）
	県関係機関	5件	48点	
国外	美術館・博物館	4件	4点	約352,371人
計		52件	352点	

※入場者区分・集計範囲は貸出先によって異なるため、小中生数については報告があったもののみ合計。

1 所蔵作品展

2008（平成20）年度の所蔵作品展開催状況

展示の概要

県民がいつでも20世紀の美術の展開やその特質に触れることができる展示を提供すると同時に、来館者の関心の多様化に考慮して、各期に、企画展と関連する時代や作家、あるいは一つのまとまりのある美術傾向や作品群に焦点をあてた特集展示を行なった。

従来年間を3期に分けて所蔵作品展を開催し、企画展会期に合わせ各期に前・後期を設けてきたが、より来館者にわかりやすいよう、展示替の実態に即して5期の開催とした。展示替ごとにかなり大幅に作品を入れ替え、多種多様な作品の紹介に努めた。

20年度は夏季にあたる第3期を全館所蔵作品展とし、展示室1から3では「タイムスケープーもうひとつの時間ー」と題して、「時間」をテーマ・切り口とした展示構成を行った。また同時期に展示室5では、20年1月に亡くなった片岡球子の特集展示を行った。第4期にはテーマ展として松藤孝一をとりあげ、また木村定三コレクションの保存・修復処置の成果として、「受け継がれる木村定三コレクション」と題して中世の絵画・経典などを展示するとともに、シンポジウムを開催して専門家のみならず一般の鑑賞者の理解を深めた。第3～第5期には、改修工事中のメナード美術館から預かった作品も多く組み入れた。

2008（平成20）年度 所蔵作品展の開催状況と入場者数

		入場者数	1日平均
2008（平成20）年度第Ⅰ期 2008年4月4日～6月1日 「近代の彫刻」「現代の彫刻」「愛知の絵画－1950～60年代」 「岸田劉生」「木村定三コレクション 須田剋太が描いた東大寺」		10,735人	(51日間) 211人
内訳	企画展「杉本健吉展」共通入場者数	10,146人	199人
	所蔵作品展のみの入場者数	589人	12人
2008（平成20）年度第Ⅱ期 2008年6月14日～7月27日 「中西夏之／加納光於」「20世紀の美術」「新収蔵 デヴィッド・シャピロ」 「特集：自画像は自我像？」「木村定三コレクション 近現代の版画から」		6,939人	(38日間) 183人
内訳	企画展「誌上のユートピア」共通入場者数	6,588人	173人
	所蔵作品展のみの入場者数	351人	10人
2008（平成20）年度第Ⅲ期 2008年8月8日～10月5日 「タイムスケープ展」「特集展示：片岡球子展」「日本美術院の画家たち」 「特集：宇宙へ」「近代ヨーロッパの彫刻」「木村定三コレクション 熊谷守一」		10,279人	(51日間) 202人
2008（平成20）年度第Ⅳ期 2008年10月17日～12月23日 「名品でたどるヨーロッパ20世紀絵画」「日本近代洋画の展開－明治から昭和へー」 「テーマ展：松藤孝一「湛える宙」」 「ファイニンガー展関連展示：キュビズムとその周辺」 「特集展示：受け継がれる木村定三コレクション 中世の絵画・経典など」		10,379人	(58日間) 179人
内訳	企画展「ライオネル・ファイニンガー」共通入場者数	9,102人	157人
	所蔵作品展のみの入場者数	1,286人	22人
2008（平成20）年度第Ⅴ期 2009年1月4日～3月22日 「近代の日本画 木村定三コレクションを中心に」 「20世紀美術の展開 クリムトから桑山忠明まで」「特集展示：奈良美智」 「近年の受贈作品から 大森運夫／片岡球子ほか」 「特集展示：村上華岳」		52,492人	(67日間) 784人
内訳	企画展「アンドリュース・ワイエス」共通入場者数	50,144人	748人
	所蔵作品展のみの入場者数	2,348人	35人
2008年度 合 計		90,824人	(265日間) 343人

所蔵作品展 展示作品リスト

■2008年度第Ⅰ期所蔵作品展 2008年4月4日(金)－6月1日(日)（「杉本健吉展」会期中）

前室では、愛知県立芸術大学で長年にわたって日本画を指導した片岡球子と、当地域の写実彫刻を主導してきた彫刻家野々村一男氏を紹介した。展示室4では、表現主義的傾向の作品と日本の近現代彫刻の人体像を紹介した。展示室5では、戦後から現代に至る抽象彫刻の様々な表現を中心に紹介した。展示室6では、愛知で活躍してきた作家の1950年代、60年代の作品を紹介した。展示室7では、岸田劉生の日本画を紹介した。展示室8では、木村定三コレクションから須田剋太の東大寺を描いた作品を紹介した。

前室 1	戸張孤雁 をなご（頭部）1910	佐藤忠良 レイ1980
片岡球子 足利家の人々1979	戸張孤雁 トルソ1922	柳原義達 風の中の鴉1982
野々村一男 青1962	戸張孤雁 煌めく嫉妬1924	舟越保武 シオンのためのエスキス1979
展示室 4 近代の彫刻	戸張孤雁 寄託作品 日高川1910	展示室 5 現代の彫刻
<彫刻>	中原悌二郎 憩える女1919	<彫刻>
エミール＝アントワース・ブールデル 両手のペートルヴェン1908	中原悌二郎 平櫛田中像1919-21	アレクサンダー・コールダー 片膝について1944
メダルド・ロツソ 病める子1893	中原悌二郎 エチュード1914（1991）	堀内正和 四角と丸の組み合わせb1956
エルンスト・バルラッハ 忘我1911-12	山本豊市 スツール1975	アレクサンダー・コールダー 寄託作品 ゴースト1976
ケーテ・コルヴィッツ 恋人たちⅡ1913（1973頃）	舟越保武 シオン1979	ジョージ・リッキー 寄託作品 動く菱形と正方形1990
エルンスト・バルラッハ 母なる大地Ⅱ1920	佐藤忠良 レイ1980	西村陽平 IRON CONTAINER FOR MUMMIFIED MAGAZINES1992
ジョルジュ・ミンヌ 聖遺物箱を担ぐ少年1897	本郷 新 裸婦坐像1975	田窪恭治 廃墟1985
<油彩>	本郷 新 無辜の民「油田地帯」1970	榎倉康二 干渉（Story－No.49）1992
エルンスト・ルートヴィヒ・キルヒナー グラスのある静物1912	高田博厚 女のトルソ1937	秋山 陽 PhoⅡ1990
エミール・ノルデ 静物Ⅰ（アマゾン、能面等）1915	柳原義達 黒人の女1956頃	多和圭三 泉－想－2002
<版画>	<洋画>	ジョージ・シーガル ロバート&エセル・スカルの肖像1965
ケーテ・コルヴィッツ 畠を耕す者1906	中村 彝 静物1915頃	戸谷成雄 寄託作品 森化Ⅲ2003
ケーテ・コルヴィッツ 死の膝に抱かれる女1921	<素描・水彩>	細井篤 ボーダーズ・ゲーム2004
ケーテ・コルヴィッツ 青い服の女工1903	戸張孤雁 卓にふせる制作年不詳	伊藤誠 頂上2004
ヴィルヘルム・レームブルック 母と子（幻影Ⅱ）1913	戸張孤雁 足芸制作年不詳	岡本敦生／野田裕示 地殻－潜むかたち1996
<彫刻>	戸張孤雁 玉乗り制作年不詳	原 裕治 アボクリファ No.21994
萩原守衛 女の胴1907	戸張孤雁 裸婦制作年不詳	<油彩>

アド・ラインハート	
No.114	1950
ルーチョ・フォンターナ	
空間概念	1960
斎藤義重	
作品	1962
斎藤義重	
ゼロイスト	1973(原作1950)
モーリス・ルイス	
デルタ・ミュー	1960-61
フランク・ステラ	
River of Ponds IV	1969

<版画>

ロバート・ラウシェンバーク	
プレヴュー（白霜エディション）	1974

展示室 6 愛知の絵画－1950-60年代

竹田大助	作者寄贈
失題13	1961
竹田大助	
牧神の朝	1953
山田彊一	
婆羅門No.1	1962
山田彊一	イサムアートギャラリー寄贈
現代餓鬼草子 太郎と花子 No.3	1969
吉川家永	作者寄贈
方式 '68-16	1968
稲葉桂	
土にかえるもの 65-1	1965
水谷勇夫	作者寄贈
担夫	1960
水谷勇夫	
玩具	1960
近藤文雄	
裁き	1962
近藤文雄	
さらしもの（3）	1964
近藤文雄	
M氏の肖像	1966
近藤文雄	
6人の盲人たち	1968
岸本清子	岸本謙一氏寄贈
《ナルシスの幕標》のためのドローイング	1966
岸本清子	岸本謙一氏寄贈
スケッチブック	1965頃

展示室 7 岸田劉生

岸田劉生	寄託作品
十楽居（劉生先生夕餚）	制作年不詳
岸田劉生	寄託作品
三楽居（辣蕒）	制作年不詳
岸田劉生	個人蔵
築地居留置風景	1912頃
岸田劉生	個人蔵
築地居留置風景	1912
岸田劉生	
高須光治君之肖像	1915
岸田劉生	
鵠沼風景	1920
岸田劉生	
竹林吹笛	1926
岸田劉生	寄託作品
鵠沼小景「鵠沼画房窓外雪景図」	1922
岸田劉生	寄託作品
鵠沼小景「窓外春光」	1923
岸田劉生	寄託作品
鵠沼小景「夏山急雨」	1923
岸田劉生	寄託作品
鵠沼小景「秋日閑々」	1923
岸田劉生	寄託作品
三酸図	1923
岸田劉生	寄託作品
止渴聯芳	制作年不詳
岸田劉生	寄託作品
生果三酸	制作年不詳
岸田劉生	寄託作品
菊慈童	1925
岸田劉生	寄託作品
四時競甘	1925頃
岸田劉生	寄託作品
王母千年	制作年不詳
岸田劉生	寄託作品
洛東初夏	1925頃
岸田劉生	木村定三コレクション
洛東深緑	1923－25頃
岸田劉生	個人蔵
春閑麗日	1926頃
岸田劉生	木村定三コレクション
王母千年実	1929頃
岸田劉生	木村定三コレクション
秋山隠士	1929
岸田劉生	木村定三コレクション
秋閑小彩	1929
岸田劉生	木村定三コレクション
清澄茂太郎図「大菩薩峠」より	1929

岸田劉生	木村定三コレクション
村嬢姿	1928
岸田劉生	寄託作品
後庭春画	1927

展示室 8 木村定三コレクション 須田剋太が描いた東大寺

上司海雲	木村定三コレクション
光明無量	制作年不詳
須田剋太	木村定三コレクション
東大寺椿	1989
須田剋太	木村定三コレクション
雪の東大寺	1984
須田剋太	木村定三コレクション
雪の大仏殿	制作年不詳
須田剋太	木村定三コレクション
雪の東大寺	1986
須田剋太	木村定三コレクション
東大寺	1981
須田剋太	木村定三コレクション
東大寺落慶供養	1985
須田剋太	木村定三コレクション
東大寺落慶供養	1987
須田剋太	木村定三コレクション
唯我	1986
須田剋太	木村定三コレクション
浄土密厳	1988
須田剋太	木村定三コレクション
壁佛	1986
須田剋太	木村定三コレクション
石仏	1986

前室 2

久野真	
銅鉄による作品	1959
笈 忠治	
名大四ツ谷付近 西山下水道	1967
笈 忠治	
名大四ツ谷付近 4	1967
笈 忠治	
名大四ツ谷付近 2	1967
笈 忠治	
名大四ツ谷付近 3	1967
山本豊市	
聴	1966頃
岸田劉生	
葵	1918
ジャーコモ・マンズー	
ある主題によるヴァリエーション	1947-66

ジャーコモ・マンズー	
踊りのステップ	1953
ジャーコモ・マンズー	寄託作品
枢機卿	1955

ロビー

清水九兵衛	
FIGURE I	1984

ラウンジ

ヴィルヘルム・レームブルック	
立ち上がる青年	1913

屋外（10階・12階）

アルナルド・ボモドーロ	（屋上庭園10階）
飛躍の瞬間	1984 財団法人日本宝くじ協会寄贈
今井瑾郎	（野外展示スペースⅡ10階）
大地	1992
コルネリス・ジットマン	（野外展示スペースⅠ12階）
カリブの女	1983

加藤昭男	（野外展示スペースⅠ12階）
大地	1986
小田 襄	（野外展示スペースⅠ12階）
円柱の構造	1988

12階アールスペースロビー

舟越保武	
花を持つ少女	1966

■2008年度第Ⅱ期所蔵作品展 2008年 6月14日(土)ー 7月27日(日)（「誌上のユートピア」展会期中）

前室、展示室4では、1930年代生まれの加納光於と中西夏之の1950年代末から現在までの作品を紹介した。展示室5では、ヨーロッパの美術、戦後アメリカの美術と抽象絵画により20世紀美術を紹介した。展示室6では、デヴィッド・シャピロ（1944～）の作品17点を初公開した。展示室7では、画家の多様な自画像を紹介した。展示室8では、木村定三コレクションから戦後日本の版画を紹介した。

前室1・展示室4

加納光於／中西夏之

加納光於	寄託作品
アララットの船あるいは空の蜜（Ep2）	1971-72
加納光於	寄託作品
昼顔	1975
加納光於	作者寄贈
語りえぬもののための変容（50点組のうち10点）	1978
加納光於	寄託作品
カラヴァジョオのいる手帖	1979
加納光於	寄託作品
水夫イシユメルよ、お前が波頭に視たものを語れⅠ	1997
加納光於	
流動のセミオティク	1982
加納光於	
繁み・運動・エレメントB	1988
加納光於	寄託作品
まなざし一疼く飛沫を連れ 33	1989-90
加納光於	寄託作品
暁に呼ばれてあるいは舵柄の行方	1997
中西夏之	寄託作品
人間の地図	1959
中西夏之	寄託作品
韻	1959
中西夏之	寄託作品
韻	1960
中西夏之	寄託作品
K. T像・オレンジドア	1966
中西夏之	寄託作品
K. T像・グリーンドアⅠ	1966
中西夏之	寄託作品
K. T像・グリーンドアⅡ	1966

中西夏之	寄託作品
K. T像・グリーンドアⅢ	1966
中西夏之	寄託作品
バランス・イン・カラー	1966
中西夏之	寄託作品
オレンジの中の三つの垂直	1967
中西夏之	寄託作品
山頂の石蹴り№8	1971
中西夏之	寄託作品
山頂の石蹴り№9	1971
中西夏之	
M字型Ⅱ	1981
中西夏之	
紫・むらさき XIX	1983

展示室5 20世紀の美術

<ヨーロッパの美術>

エドゥワール・ヴュイヤール	
窓辺の女	1898
パブロ・ピカソ	株式会社東海銀行寄贈
青い肩かけの女	1902
アルベール・マルケ	
ノートルダムの後陣	1902
アルベール・マルケ	寄託作品
ハンプルクの運河	1909
ピエール・ボナール	
子供と猫	1906頃
ラウル・デュフィ	
サンタド레스の浜辺	1906
フランティシェク・クプカ	
灰色と金色の展開	1919

ジャック・ヴィヨン	
存在	1920
パウル・クレー	
女の館	1921
ジョアン・ミロ	
絵画	1925
ジョージア・オキーフ	
抽象 第6番	1928
ポール・デルヴォー	
こだま（あるいは《街路の神秘》）	1943
ジャン・デュビュッフエ	
二人の脱走兵	1953
マックス・エルンスト	
ポーランドの騎士	1954
ジャン・フォートリエ	寄託作品
黒の青	1959
アントニ・タビエス	
コンポジション	1977
アレクサンダー・アーチベンコ	
歩く女	1912

<戦後アメリカの美術>

ロバート・ラウシェンバーク	
コース	1958
ジム・ダイン	
芝刈機	1962
ジム・ダイン	寄託作品
ア・ビューティフル・ハート	1996
ジム・ダイン	寄託作品
プリンティング・アンド・ダンシング	2002
ジャスパー・ジョーンズ	寄託作品
出足の遅れⅠ	1962

ジャスパー・ジョーンズ エール缶	寄託作品 1964
ジョージ・シーガル ロバート&エセル・スカルの肖像	1965
アンディ・ウォーホル レディース・アンド・ジェントルメン	1975
ルイズ・ニーヴェルソン Tonality no.1	寄託作品 1981
ルイズ・ニーヴェルソン Tonality no.3	寄託作品 1981
クリスト 包まれたビル、ニューヨークタイムズスクエアに設置された透明なスクリーン・タワーのためのプロジェクト	寄託作品 1968
クリスト 包まれた旧ドイツ国会議事堂、ベルリンのためのプロジェクト	1986
サム・フランシス 消失に向う地点の青	1958
モーリス・ルイス デルタ・ミュー	1960-61
堀 浩哉 風の音へー84・2	1984
堀 浩哉 水の肌へー84・2	1984
赤塚祐二 Hana 129201	寄託作品 1992
松本陽子 光は荒野の中に拡散している	1993
中村一美 破舎仏涅槃図 I	1993-95
辰野登恵子 Untitled 95-1	1995
根岸芳郎 1997-11-18	1997
鶴見雅夫 THE FOUNDER 出逢いー彩の風	作者寄贈 1997
鶴見雅夫 THE FOUNDER 新しい出逢いー里	作者寄贈 2004
野見山暁治 覚え書	2000

展示室 6 新収蔵（2007年度収蔵） デヴィッド・シャピロ

デヴィッド・シャピロ カラ 1	磯上郁子氏遺贈 1987
デヴィッド・シャピロ カラ 22	磯上郁子氏遺贈 1989
デヴィッド・シャピロ カラ 24	磯上郁子氏遺贈 1989
デヴィッド・シャピロ サヴァサン 30	磯上郁子氏遺贈 1990

デヴィッド・シャピロ 観る者、演る者、知る者、行動する者 14	磯上郁子氏遺贈 1991
デヴィッド・シャピロ サヴァサン 36	磯上郁子氏遺贈 1992
デヴィッド・シャピロ 鏡 22	磯上郁子氏遺贈 1992
デヴィッド・シャピロ マントラ 6	磯上郁子氏遺贈 1992
デヴィッド・シャピロ マントラ 12	磯上郁子氏遺贈 1992
デヴィッド・シャピロ マントラ 13	磯上郁子氏遺贈 1992
デヴィッド・シャピロ マントラ 14	磯上郁子氏遺贈 1992
デヴィッド・シャピロ マントラ 23	磯上郁子氏遺贈 1993
デヴィッド・シャピロ マントラ 24	磯上郁子氏遺贈 1993
デヴィッド・シャピロ マントラ 1	磯上郁子氏遺贈 1993
デヴィッド・シャピロ マントラ 5	磯上郁子氏遺贈 1993
デヴィッド・シャピロ マントラ 28	磯上郁子氏遺贈 1993
デヴィッド・シャピロ マントラ 36	磯上郁子氏遺贈 1993

展示室 7 特集「自画像は自我像？」

エミール・ノルデ 自画像	1908
マックス・ベックマン 自画像	1919
エーリヒ・ヘッケル 「第1回現代ドイツ美術展」のポスター	1920
アンドリュウ・ワイエス 自画像	寄託作品 1938
佐伯祐三 自画像	1917
大沢鉦一郎 自画像	1919
宮脇 晴 自画像	1920
宮脇 晴 鉢巻の自画像	1925
藤田嗣治 自画像	1923
笈 忠治 正面の顔 1	1930

笈 忠治 正面の顔 2	1957
谷中安規 自画像	1932
幾光 自画像	1934
野田哲也 日記1987年5月30日柏市亀甲台2-124にて	1987
森万里子 Mirage (Image D)	寄託作品 1997-98
澤田知子 ID400 (#201-300)	寄託作品 1998
澤田知子 School Days /A	寄託作品 2004
澤田知子 School Days /F	寄託作品 2004
澤田知子 School Days /H	寄託作品 2004
森村泰昌 フェルメール研究（三人の位置）	寄託作品 2005

展示室 8 木村定三コレクション 近現代の版画から

駒井哲郎 時間の迷路 B	木村定三コレクション 1952
駒井哲郎 森にある池	木村定三コレクション 1958
駒井哲郎 食卓 II	木村定三コレクション 1959
駒井哲郎 鳥	木村定三コレクション 1960
南 桂子 花のある木	木村定三コレクション 1959
南 桂子 少女と風せん	木村定三コレクション 1962
南 桂子 春	木村定三コレクション 1964
南 桂子 みどり色の鳥	木村定三コレクション 1967
南 桂子 実のある木と鳥	木村定三コレクション 1968
南 桂子 マロニエと少女	木村定三コレクション 1975
浜口陽三 とうがらしのある静物	木村定三コレクション 1955
木村 茂 冬木立	木村定三コレクション 1963
木村 茂 馴れ木のある風景 B	木村定三コレクション 1964

木村 茂 柿山	木村定三コレクション 1965
木村 茂 湖水	木村定三コレクション 1966
木村 茂 冬枯木・H	木村定三コレクション 1966
木村 茂 雑木林A	木村定三コレクション 1967
斎藤カオル 鉦三ツ	木村定三コレクション 1975
斎藤カオル うつむき	木村定三コレクション 1976
斎藤カオル かげと帽子	木村定三コレクション 1976
斎藤カオル 青衣	木村定三コレクション 1976
二見彰一 不安な夜(2)	木村定三コレクション 1974
二見彰一 青い椅子	木村定三コレクション 1975
二見彰一 旅の夜に	木村定三コレクション 1976
二見彰一 とぎれたフーガ	木村定三コレクション 1976

前室 2			
辰野登恵子 Aug-86-9	山崎悦子氏寄贈 1986		
辰野登恵子 Oct-86-5	山崎功平氏寄贈 1986		
荒木高子 砂の聖書		1983	
熊谷守一 猫	木村定三コレクション 1965		
ジャーコモ・マンズー ある主題によるヴァリエーション	1947-66		
ジャーコモ・マンズー 枢機卿	寄託作品 1955		
アレクサンダー・コールダー 片膝について	1944 (1965)		

ロビー

清水九兵衛 FIGURE I	1984		
加納光於 鱗片のセミオティク	寄託作品 2000		

ラウンジ

ヴィルヘルム・レームブルック 立ち上がる青年	1913
---------------------------	------

美術館前ホール

加藤昭男 ツカンカーメンのえんどう豆	1996
-----------------------	------

屋外（10階・12階）

アルナルド・ボモドーロ 飛躍の瞬間 1984 財団法人日本宝くじ協会寄贈	（屋上庭園10階）		
コルネリス・ジットマン カリブの女	（野外展示スペースⅠ12階） 1983		
加藤昭男 大地	（野外展示スペースⅠ12階） 1986		
小田 襄 円柱の構造	（野外展示スペースⅠ12階） 1988		
今井瑾郎 大地	（野外展示スペースⅡ10階） 1992		

12階アトスペースロビー

舟越保武 花を持つ少女	1966
----------------	------

■2008年度第Ⅲ期所蔵作品展（全館所蔵作品展）2008年 8 月 8 日(金)ー10月 5 日(日)

展示室1～8で、全館所蔵作品展を行った。展示室1～3では、「タイムスケープ」と題し、時間をテーマ、切り口に、時代やジャンルを越えた作品で展示を構成した。

展示室4では、明治の日本美術院草創期から昭和期までの日本画家たちを紹介した。展示室5では、神奈川県立近代美術館所蔵と当館の所蔵作品による片岡球子展を開催した。展示室6では、「宇宙へ」と題し、20世紀前半の抽象美術や宇宙的視点にもとづく現代作品を紹介した。展示室7と前室2では、フランスの彫刻家ブールデルと、イタリア、ドイツ、日本の彫刻を展示した。展示室8では、木村定三コレクションから熊谷守一の、油彩・日本画・書・クレヨンによる仏画・彫刻・絵皿を紹介した。

展示室1～3 タイムスケープ展

古代憧憬から廃墟へ

エドワード・ジョン・ポインター 世界の若かりし頃	1891
フランツ・フォン・シュトゥック 寄託作品 ギリシア神話	制作年不詳
ポール・デルヴォー こだま（あるいは《街路の神秘》）	1943
田窪恭治 廃墟	1985
荒木高子 砂の聖書	1983

動き出す時

フランティシェク・クプカ 灰色と金色の展開	1919
アレクサンダー・アーチベンコ 歩く女	1912
マン・レイ コンクリート・ミキサー《回転扉》より	1972
ジャック・ヴィヨン 存在	1920
フランシス・ピカビア 糸巻き	1921-22
カジミール・マレーヴィッチ 飛行機と鉄道によるひとりの人間の同時的な死《爆》より	1913

ジョルジュ・ブラック 自転車	メナード美術館 1952
山口勝弘 ヴィトリース	1955

つかの間、一瞬

野田哲也 日記1978年2月10日	木村定三コレクション 1978
野田哲也 日記1979年8月10日	木村定三コレクション 1979
野田哲也 日記1987年5月3日柏市亀甲台2-12-4にて	1987
クルト・シュヴィッターズ メルツ絵画52, 美容	1920

クルト・シュヴィッタース メルツ絵画305, ロボジッツ	1921
安斎重男 The 10th Tokyo Biennale: Tokyo Metropolitan Museum, May 1970	1993(1996)
奈良美智 無題	寄託作品 1995
奈良美智 無題	寄託作品 1995
奈良美智 Slash with a Knife	寄託作品 1995
奈良美智 拒絶を楽しめば幸せ	寄託作品 1995
奈良美智 YOU ARE NOT ALONE	寄託作品 1995
奈良美智 NOBODY'S FOOL(誰もバカなんかじゃないよ)	寄託作品 1997
イヴ・クライン アルマン (肖像レリーフ)	1962

記憶との対話

竹村京 There and Now, kimi shini tamou koto nakare 2	2006
オットー・ディックス 生き埋め (1916年1月、シャンパーニュ)(戦争)より	1924
オットー・ディックス 証明弾に照らされたドントリーン近郊の弾痕 (戦争)より	1924
東松照明 敗戦の記憶・豊川海軍工廠跡	1959
香月泰男 切株 (シベリア)	木村定三コレクション 1963
香月泰男 鋸 (シベリア)	木村定三コレクション 1963

時を操作する

ロニ・ホーン Still Water (The River Thames, for Example)	寄託作品 1999
杉本博司 Henry Ⅲ	寄託作品 2000
杉本博司 Metropolitan L.A, Los Angels	寄託作品 1993
澤田知子 School Days /A	寄託作品 2004
澤田知子 School Days /F	寄託作品 2004
澤田知子 School Days /H	寄託作品 2004
澤田知子 ID400 (#201-300)	寄託作品 1998

森万里子 Mirage (ImageD)	寄託作品 1997-98
森村泰昌 フェルメール研究 (三人の位置)	寄託作品 2005

プロセスと痕跡

石田尚志 フーガの技法	愛知県文化情報センター 2001
浅野弥衛 作品 (フロクタージュ)	1983
真島直子 地ごく楽2003-2	2003
荒川修作 Blank Stations	1981-82
サム・フランシス 消失に向かう地点の青	1958
ジャン・フォートリエ 黒の青	寄託作品 1959
白髪一雄 黒大佛	寄託作品 1988
中西夏之 紫・むらさき XIX	1983
中西夏之 M字型-Ⅱ	1981

響きあう時間

キキ・スミス セイレン	寄託作品 2002
土偶	木村定三コレクション エクアドル統合期 (BC500-AD1534)
イケムラレイコ 茶耳っ気のある	1993
メダルド・ロッソ 病める子	1893
ジャン・デュビュッフエ 二人の脱走兵	1953
アントニ・タピエス コンポジション	1977
山田和 志野茶碗	木村定三コレクション 1994
唐津皮鯨酒盃 銘蘇鉄	木村定三コレクション 桃山時代 17世紀初
備前烏帽子水指 備前・伊部手	木村定三コレクション 江戸時代 17-18世紀
萩茶碗 銘寒山寺	木村定三コレクション 江戸時代 17世紀後半
石造三尊仏坐像	木村定三コレクション 中国北魏時代 延昌四年銘

木造獅子座	木村定三コレクション 室町時代 15世紀
ライオンの像	木村定三コレクション アフリカ 19世紀
不動明王立像	木村定三コレクション 平安時代後期 12世紀
黒川弘毅 Hekate No.29	寄託作品 1996-97
黒川弘毅 Hekate No.30	寄託作品 1996-97
黒川弘毅 Benne Bird No.13	寄託作品 1997
李禹煥 With Wind	寄託作品 1988
熊谷守一 天上大風	木村定三コレクション (8月31日までの展示) 1951
熊谷守一 五風十雨	木村定三コレクション (9月2日からの展示) 1958
須田剋太 ○	木村定三コレクション (8月31日までの展示) 1989
須田剋太 風	木村定三コレクション (9月2日からの展示) 1989
アグネス・マーティン 無題 #3	寄託作品 1991
アグネス・マーティン Untitled	寄託作品 1998
井上萬二 白磁壺	木村定三コレクション 1997年頃
小山富士夫 粉引茶碗 銘森の囀り	木村定三コレクション 20世紀
白磁瓜形硯 (瓜廔硯)	木村定三コレクション 朝鮮時代 18-19世紀
ルーチョ・フォンターナ 空間概念	1960
岩田安弘 耀彩天目水指	木村定三コレクション 1995
黒織部茶碗 銘五月雨	木村定三コレクション 桃山時代 17世紀
黒小棗	木村定三コレクション 江戸時代前期 18世紀
ルイズ・ニーヴェルソン 漂う天界	1959-66
漆塗金銅金具貼付笈	木村定三コレクション 江戸時代頃 19世紀
ジョージア・オキーフ 抽象 第6番	1928
染谷亜里可 Decolor-Level 3	2001

杉戸洋		
The Second Lounge	2002	
舟越桂	メナード美術館	
長い休止符	1993	
アンリ・マティス		
『マラルメ詩集』	1932	
ジョルジュ・スーラ	メナード美術館	
アンサンブル (サーカスの客寄せ) (～8月31日)	1993	
ジョアン・ミロ		
絵画	1925	
マルク・シャガール	メナード美術館蔵	
すみれ色の花	1943	
ラウル・デュフィ	メナード美術館蔵	
シシリー鳥風景	1922	
南桂子	木村定三コレクション	
花のある木	1959	
南桂子	木村定三コレクション	
実のある木と鳥	1968	
田中恭吉		
そこにのみかがやくひかり『月映Ⅱ』より	1914	
藤森静雄		
夜のピアノ『月映Ⅱ』より	1914	
恩地孝四郎		
躍る (抒情五種のうち)『月映Ⅵ』より	1915	
さわひらき		
Going Places Sitting Down	2004	

前室 1

片岡球子	作者寄贈	
リヴァー (朝陽山の石狩川)	1973	
片岡球子		
足利家の人々	1979	
片岡球子		
牡丹	1996	

展示室 4 日本美術院の画家たち (メナード美術館所蔵作品を主として)

横山大観		
飛泉	1900頃	
横山大観	メナード美術館蔵	
霊峰十趣・夜	1920	
横山大観	メナード美術館蔵	
霊峰不二山	1933	
菱田春草	寄託作品	
行旅	1904頃	
菱田春草	メナード美術館蔵	
海辺月夜	1907頃	
菱田春草		
紅葉山水	1908頃	

西郷孤月	メナード美術館蔵	
月下群鶯	不詳	
小茂田青樹		
漁村早春	1921	
速水御舟	寄託作品	
木瓜	1932	
速水御舟	メナード美術館蔵	
牽牛花	1933	
小川芋銭		
陶淵明桃花源詩意	1926頃	
前田青邨		
江島詣	1917	
前田青邨	メナード美術館蔵	
出陣	1940頃	
前田青邨	メナード美術館蔵	
激流	1965	
小林古径	メナード美術館蔵	
栗蝻螂	1941	
小林古径	寄託作品	
浅春	1942	
安田靫彦	メナード美術館蔵	
王昭君	1959	
安田靫彦	寄託作品	
豊太閤	1956頃	
安田靫彦	メナード美術館蔵	
後南朝自天王像	1973	
奥村土牛	メナード美術館蔵	
文楽	1960	
小倉遊亀	メナード美術館蔵	
白椿	1977	

展示室 5 特集展示：片岡球子展

片岡球子	神奈川県立近代美術館蔵	
カンナ	1953	
片岡球子	神奈川県立近代美術館蔵	
幻想	1961	
片岡球子	神奈川県立近代美術館蔵	
海 (鳴門)	1962	
片岡球子	神奈川県立近代美術館蔵	
火山 (浅間山)	1965	
片岡球子	神奈川県立近代美術館蔵	
火山 (浅間山)	1965	
片岡球子	神奈川県立近代美術館蔵	
面構 足利尊氏	1966	
片岡球子	神奈川県立近代美術館蔵	
面構 足利義満	1966	
片岡球子	神奈川県立近代美術館蔵	
面構 足利義政	1966	

片岡球子	神奈川県立近代美術館蔵	
面構 等持院殿	1967	
片岡球子	神奈川県立近代美術館蔵	
面構 徳川家康公	1967	
片岡球子	神奈川県立近代美術館蔵	
面構 日蓮	1968	
片岡球子	神奈川県立近代美術館蔵	
面構 白隠	1968	
片岡球子	神奈川県立近代美術館蔵	
面構 上杉謙信と直江山城守	1969	
片岡球子	神奈川県立近代美術館蔵	
面構 豊太閤と黒田如水	1970	
片岡球子	神奈川県立近代美術館蔵	
面構 葛飾北斎	1971	
片岡球子	神奈川県立近代美術館蔵	
面構 喜多川歌麿と鳥居清長	1972	
片岡球子	神奈川県立近代美術館蔵	
面構 安藤広重	1973	
片岡球子	神奈川県立近代美術館蔵	
面構 鳥文斎栄之	1974	
片岡球子	神奈川県立近代美術館蔵	
面構 山崎辨栄上人と伯則承陵王楽人	1975	
片岡球子	神奈川県立近代美術館蔵	
面構 国貞改め三代豊国	1976	
片岡球子	作者遺贈 (片岡雍子氏寄贈)	
面構 葛飾北斎・瀧澤馬琴	1979	
片岡球子		
面構 歌川国貞・柳亭種彦	1980	
片岡球子	作者遺贈 (片岡雍子氏寄贈)	
裸婦Ⅰ	1985	
片岡球子	作者遺贈 (片岡雍子氏寄贈)	
裸婦Ⅱ	1985	
片岡球子	作者遺贈 (片岡雍子氏寄贈)	
裸婦Ⅲ	1985	
片岡球子	作者遺贈 (片岡雍子氏寄贈)	
くつろぎⅠ	1986	
片岡球子	作者遺贈 (片岡雍子氏寄贈)	
くつろぎⅡ	1986	
片岡球子	作者遺贈 (片岡雍子氏寄贈)	
くつろぎⅢ	1986	
片岡球子	作者遺贈 (片岡雍子氏寄贈)	
裸婦ひとときⅠ	1987	
片岡球子	作者遺贈 (片岡雍子氏寄贈)	
裸婦ひとときⅡ	1987	
片岡球子	作者遺贈 (片岡雍子氏寄贈)	
裸婦	1988	
片岡球子	作者遺贈 (片岡雍子氏寄贈)	
裸婦	1989	

片岡球子 裸婦	作者遺贈（片岡雍子氏寄贈）	1989
片岡球子 裸婦	作者遺贈（片岡雍子氏寄贈）	1996

展示室 6 特集：宇宙へ

ジャーコモ・バッラ 太陽の前を通過する水星（習作）	1914
フランティシェク・クブカ 木版画集『白と黒の四つの物語』（全26点のうち8点）	1926
ハンス・アルプ 星座	1932
ハンス・アルプ 詩画集『日輪』（全16点のうち5点）	1966
ヴィーヤ・セルマンズ 無題（海・砂漠・空・銀河）（4点組）	寄託作品 1975
ロベルト・マッタ ホメロスⅣ「拠点」（全10点のうち4点-〈支点の支点〉、〈燃える思いの赤外線〉、〈本質の要素〉、〈入口は出口にあり〉）	1983
デヴィッド・シャピロ マントラ 5	磯上郁子氏寄贈 1993
デヴィッド・シャピロ マントラ 36	磯上郁子氏寄贈 1993
藤城凡子 惑星	寄託作品 2005

展示室 7 近代ヨーロッパの彫刻

オーギュスト・ロダン 歩く人	1900
エミール＝アントワース・ブールデル 両手のベーターヴェン	1908
エミール＝アントワース・ブールデル ベネローブ	1909
エミール＝アントワース・ブールデル 力	1914-15
エミール＝アントワース・ブールデル 勝利	1916
エミール＝アントワース・ブールデル 雄弁	1916
エミール＝アントワース・ブールデル 自由	1916

展示室 8 木村定三コレクション 熊谷守一

熊谷守一 蓼科牧	木村定三コレクション 1951
熊谷守一 引潮	木村定三コレクション 1951
熊谷守一 小牛	木村定三コレクション 1952

熊谷守一 裸婦	木村定三コレクション 1954
熊谷守一 ハルシヤ菊	木村定三コレクション 1954
熊谷守一 西日	木村定三コレクション 1955
熊谷守一 石亀	木村定三コレクション 1957
熊谷守一 白仔猫	木村定三コレクション 1958
熊谷守一 三毛猫	木村定三コレクション 1959
熊谷守一 雨水	木村定三コレクション 1959
熊谷守一 雨滴	木村定三コレクション 1961
熊谷守一 猫	木村定三コレクション 1965
熊谷守一 瓜	木村定三コレクション 1965
熊谷守一 鳥	木村定三コレクション 1944
熊谷守一 からす	木村定三コレクション 1950
熊谷守一 ほとけさま	木村定三コレクション 1950
熊谷守一 雨滴	木村定三コレクション 1950
熊谷守一 眠猫	木村定三コレクション 1953
熊谷守一 普賢菩薩	木村定三コレクション 1951
熊谷守一 千手観音	木村定三コレクション 1954
熊谷守一 臥裸婦	木村定三コレクション 1955
熊谷守一 かたつむり図 額皿	木村定三コレクション 不詳

前室 2

瑛九 黄色い花	1957-58
萩原守衛 女の胴	1907（1993）
戸張孤雁 をなご（頭部）	1910
戸張孤雁 立てる女	1911

戸張孤雁 煌めく嫉妬	1924
中原悌二郎 憩える女	1919
中原悌二郎 平櫛田中像	1919-21
本郷 新 無辜の民「仏生」	1970
エルンスト・バルラッハ 忘我	1911-12
ジャーコモ・マンズー ある主題によるヴァリエーション	1947-66
ジャーコモ・マンズー 枢機卿	寄託作品 1955
オシップ・ザツキン チェロのトルソ	1956-57

ロビー

マリノ・マリーニ 馬と騎手（街の守護神）	メナード美術館蔵 1949
-------------------------	------------------

ラウンジ

ヴィルヘルム・レームブルック 立ち上がる青年	1913
---------------------------	------

10階美術館前ホール

加藤昭男 ツタンカーメンのえんどう豆	1996
-----------------------	------

10階屋上庭園（レストラン脇）

アルナルド・ボモドーロ 飛躍の瞬間	1984 財団法人日本宝くじ協会寄贈
----------------------	--------------------

屋外展示スペースⅠ（12階屋上）

コルネリス・ジットマン カリブの女	1983
加藤昭男 大地	1986
小田 襄 円柱の構造	1988

屋外展示スペースⅡ（10階）

今井瑾郎 大地	1992
------------	------

12階アールスペースロビー

舟越保武 花を持つ少女	1966
----------------	------

■2008年度第Ⅳ期所蔵作品展 2008年10月17日(金)－12月23日(火・祝) (ファイニンガー展会期中)

展示室4では、当館所蔵作品とメナード美術館の所蔵作品とあわせて、19世紀末から20世紀半ばのヨーロッパ美術を紹介した。展示室5でもメナード美術館の所蔵作品とあわせて、明治・大正・昭和を代表する画家を紹介した。展示室6では、テーマ展松藤孝一を開催した。展示室7では、ピカソ、ブラックの版画から、キュビズムを応用した作家たちの作品を紹介した。展示室8では、特集展示として、木村定三コレクションから、中世の仏画2点と宮曼荼羅図・経典について、修理を通して得られた知見をもとに、作品の素材や技法などを紹介し、制作年代などの問題を考察した。

前室 1			メナード美術館蔵			メナード美術館蔵		
ギュスターヴ・クールベ			メナード美術館蔵			メナード美術館蔵		
デズデモーナの殺害			1866			1913頃		
メナード美術館蔵			メナード美術館蔵			メナード美術館蔵		
ジョルジュ・ブラック			メナード美術館蔵			メナード美術館蔵		
青いテーブルクロス			1938			1913頃		
メナード美術館蔵			メナード美術館蔵			メナード美術館蔵		
ピエール・ボナール			メナード美術館蔵			メナード美術館蔵		
にぎやかな風景			1913頃			個人蔵		
メナード美術館蔵			メナード美術館蔵			メナード美術館蔵		
ジョージア・オキーフ			メナード美術館蔵			メナード美術館蔵		
抽象 第6番			1928			1912		
メナード美術館蔵			メナード美術館蔵			メナード美術館蔵		
ジョアン・ミロ			メナード美術館蔵			メナード美術館蔵		
絵画			1925			1915		
メナード美術館蔵			メナード美術館蔵			メナード美術館蔵		
ポール・デルヴォー			メナード美術館蔵			メナード美術館蔵		
こだま（あるいは《街路の神秘》）			1943			1919		
メナード美術館蔵			メナード美術館蔵			メナード美術館蔵		
マックス・エルンスト			メナード美術館蔵			メナード美術館蔵		
ポーランドの騎士			1954			1921		
メナード美術館蔵			メナード美術館蔵			メナード美術館蔵		
小出栖重			メナード美術館蔵			メナード美術館蔵		
蔬菜静物			1925			1925		
メナード美術館蔵			メナード美術館蔵			メナード美術館蔵		
小出栖重			メナード美術館蔵			メナード美術館蔵		
裸女			1925			1930		
メナード美術館蔵			メナード美術館蔵			メナード美術館蔵		
小出栖重			メナード美術館蔵			メナード美術館蔵		
立てる裸婦			1930			1934		
メナード美術館蔵			メナード美術館蔵			メナード美術館蔵		
鰻光			メナード美術館蔵			メナード美術館蔵		
馬			1934			1934		
メナード美術館蔵			メナード美術館蔵			メナード美術館蔵		
鰻光			メナード美術館蔵			メナード美術館蔵		
編物をする女			1934			1927		
メナード美術館蔵			メナード美術館蔵			メナード美術館蔵		
熊谷守一			メナード美術館蔵			メナード美術館蔵		
線裸			1906-07			1938		
メナード美術館蔵			メナード美術館蔵			1939		
熊谷守一			メナード美術館蔵			1927		
鳥			1902			1937		
メナード美術館蔵			メナード美術館蔵			1937		
熊谷守一			メナード美術館蔵			メナード美術館蔵		
麥畑			1909			1923		
メナード美術館蔵			メナード美術館蔵			1925		
長谷川利行			メナード美術館蔵			メナード美術館蔵		
酒売場			1908			メナード美術館蔵		
メナード美術館蔵			メナード美術館蔵			メナード美術館蔵		
長谷川利行			メナード美術館蔵			メナード美術館蔵		
ノアノアの少女			1915			メナード美術館蔵		
メナード美術館蔵			メナード美術館蔵			メナード美術館蔵		
長谷川利行			メナード美術館蔵			メナード美術館蔵		
伊豆大島			1907（1993）			メナード美術館蔵		
メナード美術館蔵			メナード美術館蔵			メナード美術館蔵		
戸張孤雁			（11月18日から展示）			メナード美術館蔵		
立てる女			1911			メナード美術館蔵		
メナード美術館蔵			メナード美術館蔵			メナード美術館蔵		
中村 耕			メナード美術館蔵			メナード美術館蔵		
少女裸像			1914			メナード美術館蔵		
メナード美術館蔵			メナード美術館蔵			メナード美術館蔵		

佐伯祐三	メナード美術館蔵	
静物＝バリ・ソアル	1925頃	
佐伯祐三	メナード美術館蔵	
バリの裏通り	1927	
佐伯祐三	メナード美術館蔵	
街角の広告	1927	
藤田嗣治	トヨタ自動車株式会社からの寄附金により購入	
青衣の少女	1925	
海老原喜之助		
雪山と樵	1930	
海老原喜之助		
ゲレンデ	1930	
古賀春江		
夏山	1927	
神原 泰		
生命の流動	1924	
藤島武二	メナード美術館蔵	
耕到天	1938	
坂本繁二郎	メナード美術館蔵	
林間馬	1938	
安井曾太郎		
承德喇嘛廟	1938	
安井曾太郎	メナード美術館蔵	
焼岳	1941	
梅原龍三郎	メナード美術館蔵	
桜島の朝	1935	
北川民次		
メキシコ三童女	1937	
北川民次	寄託作品	
岩山に茂る	1940	
国吉康雄	メナード美術館蔵	
ピンクスリップの少女	1932	
国吉康雄	メナード美術館蔵	
女は廃墟を歩く	1946	
須田国太郎		
樹下	1954	
香月泰男	メナード美術館蔵	
椿	1950	
香月泰男		
散歩	1953	
鳥海青児		
うずくまる	1954	
林 武		
ノートルダム	1960	
荻須高德		
線路に面した家	1955	
牛島憲之		
埋れる船	1962	

森 芳雄		
女たち	1954	
脇田 和		
断層の人と鳥	1960	
麻生三郎		
胴体と頭と電球	1964	
島田章三		
石庭女人図	1976	
柳原義達		
黒人の女	1956頃	

展示室 6

テーマ展：松藤孝一「湛える宙」

松藤孝一	作者蔵	
宙眺赤子坐像	2008	
松藤孝一	作者蔵	
宙想赤子坐像	2008	
松藤孝一	作者蔵	
宙和赤子寝像	2008	
松藤孝一	作者蔵	
宙望赤子坐像	2008	
松藤孝一	作者蔵	
宙思赤子坐像	2008	
松藤孝一	作者蔵	
宙遊赤子坐像（２体組）	2008	

展示室 7「ファイニンガー」展関連 展示：キュビズムとその周辺

ピカソ、ブラックのキュビズム		
ジョルジュ・ブラック		
裸婦習作	1907-08	
パブロ・ピカソ		
果物皿のある静物	1909	
ジョルジュ・ブラック		
小さなキュビズム的ギター	1909-10	
パブロ・ピカソ		
長椅子のレオニー嬢『聖マトレル』より	1910(1911)	
ジョルジュ・ブラック		
J O B	1911	
ジョルジュ・ブラック		
コンポジション（静物Ⅰ）	1912	
ジョルジュ・ブラック		
コンポジション（グラスのある静物）	1912	
パブロ・ピカソ		
男と犬	1914(1930)	
パブロ・ピカソ		
ギターを持つ男	1915(1929)	
キュビズムの周辺ーバリ		

ルイ・マルクーシ		
ギョーム・アポリネールの肖像	1912-20	
ジャック・ヴィヨン		
食卓	1913	
ジャック・ヴィヨン		
存在	1920	
レイモン・デュシャン＝ヴィヨン		
恋人たち	1913	
ロベール・ドローネー		
「カーディフ・チーム」習作	1913-22	
アレクサンダー・アーチベンコ		
歩く女	1912	

ー諸外国へ

ジャーコモ・バッラ		
太陽の前を通過する水星（習作）	1914	
カジミール・マレーヴィチ		
農婦《子豚》より	1913	
カジミール・マレーヴィチ		
建設者の完全な肖像《子豚》より	1913	

キュビズムを手段として		
フランティシェク・クプカ		
灰色と金色の展開	1919	
ヴァシリー・カンディンスキー	マード新館蔵	
切片	1929	
パウル・クレー		
女の館	1921	
パウル・クレー		
蛾の踊り	1923	

パウハウス （パウハウス・マイスター版画作品集から）		
ヴァシリー・カンディンスキー		
たのしき飛翔	1923	
オスカー・シュレンマー		
脚を組んだ抽象的人体像	1923	
ゲオルク・ムッヘ		
無題	1923	
ゲルハルト・マルクス		
無題	1923	
パウル・クレー		
恋人	1923	
ラースロー・モホリ＝ナジ		
無題	1923	
ロータル・シュライアー		
無題	1923	

展示室 8 特集展示： 受け継がれる木村定三コレクション

愛染明王像	木村定三コレクション 鎌倉時代後期（13-14世紀）
阿弥陀三尊来迎図	木村定三コレクション 鎌倉末～南北朝時代（14世紀）
春日宮曼荼羅図	木村定三コレクション 鎌倉時代後期（13-14世紀）
紺紙金字解説道論 巻第七	木村定三コレクション 平安時代末（12世紀）

前室 2

香月泰男（11月16日まで展示）	木村定三コレクション 風船売り	1960
桂 ゆき（11月18日から展示）	木村定三コレクション 猫	制作年不詳
山口長男 庭		1935
舟越 桂 長い休止符	メナード美術館蔵	1993

舟越 桂 肩で眠る月	1996
---------------	------

ロビー

ルイズ・ニーヴェルスン 漂う天界	1959-66
マリノ・マリーニ 馬と騎手（街の守護神）	メナード美術館蔵 1949

ラウンジ

ヴィルヘルム・レームブルック 立ち上がる青年	1913
---------------------------	------

10階美術館前ホール

加藤昭男 ツタンカーメンのえんどう豆	1996
-----------------------	------

10階屋上庭園（レストラン脇）

アルナルド・ボモドーロ 飛躍の瞬間	財団法人日本空くじ協会寄贈 1984
----------------------	-----------------------

屋外展示スペースⅠ（12階屋上）

コルネリス・ジットマン カリブの女	1983
加藤昭男 大地	1986
小田 襄 円柱の構造	1988

屋外展示スペースⅡ（10階）

今井瑾郎 大地	1992
------------	------

12階アトスペースロビー

舟越保武 花を持つ少女	1966
----------------	------

■2008年度第Ⅴ期所蔵作品展 2009年 1 月 4 日(日)－ 3 月22日(日)（ワイエス展会期＋ 2 週間）

展示室 4 では木村定三コレクションから、明治末から大正にかけて文人画（南画）や大和絵などの古典絵画を見直して個性を発揮した画家たちを紹介した。あわせて、昭和半ばに独自の文人画的な海景図を多く描いた不染鉄の作品を、新収藏品と寄託品により紹介した。展示室 5 では、20世紀前半の抽象絵画やシュルレアリスムなどを紹介し、20世紀後半フランスに発したアンフォルメルやアメリカのミニマリズムなどの美術動向を紹介した。展示室 6 では、奈良美智の寄託作品を紹介した。展示室 7 では近年の受贈作品から、愛知県に関係のある作家の絵画を紹介した。展示室 8 では、1918年（大正 7）に土田麦僊や小野竹喬らと国画創作協会を創立して東西両洋の融合を目指した村上華岳（1888－1939）を、当館とメナード美術館の所蔵作品および寄託作品によって紹介した。（前期は 2 月 8 日まで、後期は 2 月10日から）

前室 1

サム・フランシス 消失に向かう地点の青	1958
篠原猛史 真っ直ぐな曲線	2004

展示室 4 近代の日本画
ー木村定三コレクションを中心にー

小川芋銭（後期）	木村定三コレクション 若葉に蒸さるる木精	1921
小川芋銭（後期）	木村定三コレクション 桃花流水送漁夫	1934
小川芋銭（後期）	木村定三コレクション 登竜門	1937
小川芋銭（後期）	木村定三コレクション 二鳥捕捉	1937頃
小川芋銭（後期）	木村定三コレクション 大鵬	1937
萬鉄五郎 砂丘風雨		1919-27

萬鉄五郎 南風丘砂図	木村定三コレクション 1925
---------------	--------------------

平福百穂（後期）	木村定三コレクション 老松・秋菊（双幅）	1926-30頃
----------	-------------------------	----------

平福百穂（後期）	木村定三コレクション 秋風吟	1931頃
----------	-------------------	-------

吉川霊華 古今集賀の歌	木村定三コレクション 1927頃
----------------	---------------------

吉川霊華 さくらしぐれ	木村定三コレクション 1927頃
----------------	---------------------

吉川霊華 かざしのはな（挿頭花）	木村定三コレクション 1927頃
---------------------	---------------------

森田恒友 夏草	木村定三コレクション 1920代
------------	---------------------

森田恒友 大利根の河原	木村定三コレクション 1920代
----------------	---------------------

岡本柳南（後期）	木村定三コレクション 柳陰捕魚	1925
----------	--------------------	------

岡本柳南 鵬声披秋	木村定三コレクション 1928
--------------	--------------------

岡本柳南 暗香浮動	木村定三コレクション 1931
--------------	--------------------

不染 鉄 南海之図	1955頃
--------------	-------

不染 鉄 南海の嶋	寄託作品 1955頃
--------------	---------------

展示室 5 20世紀美術の展開
クリムトから桑山忠明まで

エドゥワール・ヴェイヤール 窓辺の女	1898
-----------------------	------

アルベール・マルケ ノートルダムの後陣	1902
------------------------	------

アルベール・マルケ ハンブルクの運河	寄託作品 1909
-----------------------	--------------

オスカー・ココシュカ 夢みる少年たち	1907(08年刊)
-----------------------	------------

エゴン・シーレ しゃがみこむ女	1914 (1919)
--------------------	-------------

パブロ・ピカソ 青い肩かけの女	株式会社東海銀行寄贈 1902
--------------------	--------------------

ビエール・ボナール	
子供と猫	1906頃
アメデオ・モディリアーニ	寄託作品
黒い瞳の女	1918
国吉康雄	
帽子の女	1920頃
藤田嗣治	トヨタ自動車株式会社からの寄附金により購入
青衣の少女	1925
ジョアン・ミロ	
絵画	1925
ポール・デルヴォー	
こだま（あるいは《街路の神秘》）	1943
マックス・エルンスト	
ポーランドの騎士	1954
ジャン・デュビュッフエ	
二人の脱走兵	1953
田淵安一	
有機的表象	1955
ジャン・フォートリエ	寄託作品
黒の青	1959
ルーチョ・フォンターナ	
空間概念	1960
元永定正	
作品	1961
堂本尚郎	
絵画1962-25	1962
白髪一雄	
作品	1963
山口長男	
屏形	1963
アントニ・タビエス	
コンポジション	1977
沢居曜子	
Carbon-Work II-9	1977
沢居曜子	
Line-Work VII-78-3	1978
沢居曜子	
Line-Work VI-78-12	1978
沢居曜子	
Line-Work VI-79-14	1979
アグネス・マーティン	寄託作品
無題＃3	1991
桑山忠明	
Untitled（6ピース）	2001
エミコ・サワラギ・ギルバード	
ニア・ベイ I—IV（4点組）	2003
エミコ・サワラギ・ギルバード	作者寄贈
ニア・ベイ “ニルヴァーナ”	2003

辰野登恵子	山崎功平氏寄贈
Oct-86-5	1986
吉澤美香	寄託作品
へー11（He-11）	1992
中村一美	
破舎仏涅槃図 I	1993-95
野見山曉治	
覚え書	2000
ふじい忠一	作者寄贈
Untitled	2002
ふじい忠一	作者寄贈
Untitled	2002
ふじい忠一	作者寄贈
Untitled	2002
細井 篤	
ボーダーズ・ゲーム	2004

展示室 6 特集展示 奈良美智 1991-2001

奈良美智	寄託作品
犬 Ich glaube nicht deiner Idee!（僕は君の考えなんか信じてない!）	1991頃
奈良美智	寄託作品
Cosmic Dancer	1991
奈良美智	寄託作品
Little Prince（小さな王子）	1992
奈良美智	寄託作品
Danke für Rahmen	1996
奈良美智	寄託作品
My dady's pullover（パパのセーター）	1994
奈良美智	寄託作品
Walking with Small Steps	1995
奈良美智	寄託作品
Slash with a Knife	1995
奈良美智	寄託作品
拒絶を楽しんでれば幸せ	1995
奈良美智	寄託作品
YOU ARE NOT ALONE.（君は独りぼっちじゃない。）	1992
奈良美智	寄託作品
レンブラント犬	1995
奈良美智	寄託作品
無題	1995
奈良美智	寄託作品
無題	1995
奈良美智	寄託作品
Family Pagoda	1996
奈良美智	寄託作品
NOBODY'S FOOL（誰もバカじゃないよ）	1997
奈良美智	寄託作品
BEAT THE BOOTS	1998

奈良美智	寄託作品
当り矢	1999
奈良美智	寄託作品
Merry Christmas for the End of 20th Century	2000
奈良美智	寄託作品
Tannenbaum and me（もみの木とわたし）	2001

展示室 7 近年の受贈作品から 大森運夫／片岡球子ほか

遠山 清	中山とし子氏寄贈
静物	1929頃
石河彦男	石河統一郎氏寄贈
堀川端	1959
石河彦男	石河統一郎氏寄贈
島の城塞都市	1981
富田弘一	富田冬生氏寄贈
集会	1977
富田弘一	富田冬生氏寄贈
とこなめ	1992
片岡球子	作者遺贈（片岡雍子氏寄贈）
面構 葛飾北斎・滝澤馬琴	1979
片岡球子	作者遺贈（片岡雍子氏寄贈）
裸婦ひととき I	1987
片岡球子	作者遺贈（片岡雍子氏寄贈）
裸婦	1996
大森運夫	作者寄贈
家	1964
大森運夫	作者寄贈
夢と知りせば	1986
大森運夫	作者寄贈
スバシ故城	1995
大森運夫	作者寄贈
ロマネスク讃	2003

展示室 8 特集展示 村上華岳

※展示替あり（前期は2月8日まで、後期は2月10日から）	
村上華岳	
梅溪山道	1914
村上華岳	
魔障之図	1923
村上華岳	木村定三コレクション
青柿	1923
村上華岳	木村定三コレクション
草と虫	1924
村上華岳	（後期）メナード美術館蔵
牡丹遊蝶図	1934
村上華岳	（後期）メナード美術館蔵
菩提樹下静観之図	1935

村上華岳 拈華観音	(後期)メナード美術館蔵 1935-38頃
村上華岳 仏立像	木村定三コレクション 1937
村上華岳 夜摩天	木村定三コレクション 1938頃
村上華岳 散華	1939
村上華岳 高原長風図	(後期)寄託作品
日高昌克 磯	木村定三コレクション 1954
日高昌克 春曉	木村定三コレクション 1954

前室 2

奈良美智 黒頭巾	寄託作品 1996
-------------	--------------

木村忠太 浅い春	松井慶夫氏寄贈 1980
木村忠太 クロ・サンビエール	松井慶夫氏寄贈 1977
木村忠太 クロ・サンビエール	松井慶夫氏寄贈 1981
舟越保武 LOLA	寄託作品 1974

ラウンジ

ヴィルヘルム・レームブルック 立ち上がる青年	1913
---------------------------	------

10階美術館新ホール

加藤昭男 ツタンカーメンのえんどう豆	1996
-----------------------	------

10階屋上庭園 (レストラン脇)

アルナルド・ボモロード 財団法人日本宝くじ協会寄贈 飛躍の瞬間	1984
------------------------------------	------

屋外展示スペース I (12階屋上)

コルネリス・ジットマン カリブの女	1983
加藤昭男 大地	1986
小田 襄 円柱の構造	1988

屋外展示スペース II (10階)

今井瑾郎 大地	1992
------------	------

12回アールスペースロビー

船越保武 花を持つ少女	1966
----------------	------



第III期所蔵作品展 展示室 8
受け継がれる木村定三コレクション

所蔵作品展

『タイムスケープ もうひとつの時間』

会 期：2008年8月8日（金）～10月5日（日）
会 場：展示室1～3
担 当：中村史子

内容と結果：

所蔵作品および寄託作品の中から、時間をテーマに作品を選択し展示した。目には見えない時間、手にすることが出来ない時間など、日常生活とは異なる時間を切り口に、絵画、写真、立体から多様な表現を紹介し、また古美術、近代西洋絵画、現代美術を同じ空間に展示した。時の経過を絵の具のにじみや飛び散りなどの制作の痕跡にたどり、時の操作を現代の写真を見させるなど、鑑賞者に様々な時を感じさせるような作品選択を行った。

一般に難解と思われがちな現代美術を、近代絵画や古美術と並べ、これまでの所蔵作品展とは異なる新しい視点によって展示することで、鑑賞者に親しみやすい新鮮な印象を与えることができた。また、夏休み子ども鑑賞会を実施し、子どもたちにも分かりやすく楽しく現代美術を鑑賞させる絶好の機会となった。

関連事業：

○ギャラリー・トーク（学芸員による展示説明会）

時 間：11：00～11：40
開 催 日：2008年8月14日（木） 20名
8月30日（土） 20名
9月11日（木） 20名
9月20日（土） 20名

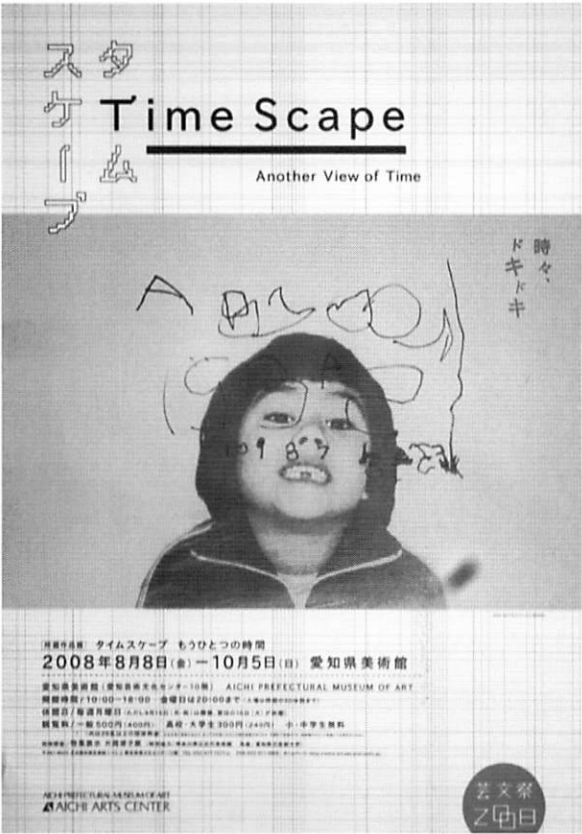
担 当：中村史子

○パフォーマンス「ワンデー・スカルプチャー」

開 催 日：8月17日（日）
時 間：11：00～17：00
（時間内に数回、パフォーマンスを実施）
パフォーマンス：ジミー・キンリー
対 象：一般～子ども

○ワークショップ「裏・夏休み なにかしら 作ってみよう」

開 催 日：8月17日（日）
時 間：14：00～16：00
講 師：青田真也（アーティスト）、川見 俊（アーティスト）、小杉滋樹（アーティスト）、タン・ルイ（アーティスト）
参 加 者：30名



特集展示

『片岡球子展』

会 期：8月8日（金）～10月5日（日）
会 場：展示室5
担 当：深山孝彰

内容と結果：

2008年1月に103歳で亡くなった日本画家片岡球子は、奔放な色彩と大胆なデフォルメによる力強い作品で知られ、歴史上の人物を大きく描いた〈面構〉(つらがまえ) シリーズは彼女の代名詞ともなった。また、1966（昭和41）年に開校した愛知県立芸術大学の初代日本画科主任教授として、後進の指導にも熱意を注いだ。遺言により遺作13点が当館に寄贈されたことを記念して、当館の所蔵品と神奈川県立近代美術館所蔵の代表作などを合わせて展示した。

出品点数：平成20年度遺贈作品	13点
既所蔵作品	5点
神奈川県立近代美術館作品	21点
合計39点	

関連事業：

○記念講演会

日 時：2008年9月6日（土）13：30～15：00
会 場：アートスペースA
講 師：山梨俊夫（神奈川県立近代美術館長）
演 題：「噴火する個性 片岡球子の人と芸術」
参 加 者：91名

主要関連記事

【新聞】

- ・（無 記 名）「片岡球子さんしのび展覧会」
『読売新聞』2008年8月10日朝刊
- ・森村 陽子「愛知の2会場で片岡球子展
確かなデッサン力を体感」
『中日新聞』2008年8月22日夕刊
- ・（無 記 名）「片岡球子展 愛知県美術館
『面構』や裸婦像 多彩な38点」
『日本経済新聞』2008年9月4日夕刊
- ・西田 健作「気骨の画家 鮮烈 片岡球子回顧展
愛知・三重で」
『朝日新聞』2008年9月23日朝刊



平成20年度テーマ展（小企画展）

松藤孝一『^{たた}湛^{そら}える宙』

会 期：2008年10月17日（金）～12月23日（火・祝）[58日間]
会 場：展示室 6
担 当：森 美樹

内容と結果：

愛知県美術館では、年に1度テーマ展と題し、東海地方を中心に活躍する若手作家を紹介してきた。2008年度は、ガラスを素材に制作をする松藤孝一の作品を紹介した。1973年長崎に生まれた松藤は、愛知教育大学卒業後、渡米しイリノイ州立大学美術学部修士課程を修了、現在は名古屋を拠点に活動している。

松藤はこれまでガラスで赤ちゃんを制作してきた。光を透過するガラスでできた赤ちゃんの体は、豊かな生命感を湛え、それはまるで宇宙のように永遠な命の泉を想起させる。そして、このような赤ちゃん数体が配された空間は、赤ちゃんを包む母体のように、静かで、冷たく、神秘的である。また造形的には、日本の仏像から着想を得ており、赤ちゃんの表情はどこか悟りの境地に至ったように清く神々しい。松藤が作り出すこの作品は非常に独創性が強く、まだまだ様々な可能性を秘めていると感じられる。

今回のテーマ展では、これまでにないヴァリエーションに富んだ、様々なポーズをとる赤ちゃん7体（全て新作）を展示空間にインスタレーションした。そしてそれぞれの赤ちゃんを結びつけるように、銀色の蝶が宙を舞い、赤ちゃんと蝶、そしてそれらを包み込む空間が絶妙なバランスで一体化した。展示室脇に設置したノートには、鑑賞者からの様々な感想が寄せられていたが、多くの人がこの展示空間に入ると、ガラスの赤ちゃんが湛える生命の宇宙を感じ、心の琴線に何かが触れたと感じたようだ。

このテーマ展後、ギャラリーと契約が成立し、以前にも増して活躍の場が広がった。愛知で活躍する若い作家がさらに大きなフィールドへ羽ばたくきっかけを作ったと同時に、多くの才能を秘めた作家の作品を紹介できたことは、今回のテーマ展の大きな成果である。



パンフレット：

B5判 6ページ（1,000部）

編集：森 美樹

撮影：菊池義浩

デザイン：藤本孝一

翻訳：倉橋理佐

発行 愛知県美術館

関連事業：

○作家レクチャー&ギャラリートーク（友の会共催事業）

日 時：2008年11月2日13：30～15：00

会 場：アールスペースE、F及び展示室6

講 師：松藤孝一

司会進行：森 美樹

参加者：40名

主要関連記事：

【新聞】

・中村英樹「松藤孝一 湛える宙展 7体の世界に身を委ねて」

『日経新聞』2008年11月27日 夕刊

・（陽）「松藤孝一 湛える宙」

『中日新聞』2008年1月7日 朝刊

移動美術館

名 称：愛知県美術館 平成20年度 移動美術館
「名画との出会い」
会 場：ゆめたろうプラザ（武豊町民会館）
ギャラリー（1階）、響きホール（2階）
会 期：平成20年11月20日（土）～ 11月30日（日）[10日間]
主 催：愛知県美術館、(財)愛知県文化振興事業団、武豊町、
武豊町教育委員会、ギャラリー活性化事業実行委員
会
担 当：藤島美葉
展 示 点 数：所蔵作品40点
(油彩画16点、水彩その他4点、版画10点、立体10点)

展 示 内 容：「名画との出会い」をテーマに、ゆめたろうプラザ
内のギャラリーとコンサートホールを会場とした。
ギャラリーでは、愛知県ゆかりの作家を含む明治期
から今日に至る日本の洋画と彫刻を中心に、コンサ
ートホール（響きホール）では、音楽や演劇等を題
材とした作品を中心に展示した。なお、二会場共に
木村定三コレクションの作品も数点含めて展示し
た。

展 示 作 品：

ギャラリー〔1階〕風景、ひと

1	久米 桂一郎	秋景	1892年
2	黒田 清輝	花と猫	1906年
3	大沢 鉦一郎	自画像	1919年
4	佐分 真	裸婦	1925年頃
5	熊谷 守一	白仔猫（木村定三コレクション）	1958年
6	香月 泰男	風船売り（木村定三コレクション）	1960年
7	須田 翹太	裸（木村定三コレクション）	1987年
8	杉本 健吉	トレドにて	1980年
9	杉本 健吉	平等院	1978年頃
10	杉本 健吉	韓国風景（秘苑）	1973年頃
11	杉本 健吉	新・平家物語 週刊朝日第139回挿絵B「馬と鹿」	1953年
12	杉本 健吉	新・平家物語 刊行本第21巻挿絵「流の巻」お絵の遊び	1956年
13	中原 悌二郎	平櫛田中像	1919-21年
14	荻原 守衛	女の胴	1907年
15	戸張 孤雁	煌く嫉妬	1924年
16	高田 博厚	女のトルソ	1937年
17	山本 豊市	聴	1966年頃

響きホール〔2階〕さまざまな舞台芸術

1	エドワード・ジョン・ポインター	世界の若かりし頃	1891年
2	エミール＝アントワーン・ブールデル	両手のベートーベン	1908年
3	北山 善夫	言葉が輝く時	1987年
4	オシップ・ザツキン	チェロのトルソ	1956-57年
5	鬼頭 鍋三郎	二人のパレリーナ	1952年
6	小磯 良平	室内A	1972年

7	笠井 誠一	ウクレレと冬瓜とグロリオサのある卓上静物	1995年
8	桂 ゆき	あやつり人形（木村定三コレクション）	1970年
9	尾崎 良二	サパークラブ（木村定三コレクション）	1970年
10	桜井 陽司	人形（木村定三コレクション）	1991年
11	ジャン・ミッシェル・フォロン	モダンタイムス（木村定三コレクション）	1978年
12	フェルナン・レジェ	サーカス	1950年
13	フェルナン・レジェ	サーカス	1950年
14	加藤 孝一	フレンチカンカン（木村定三コレクション）	不詳
15	加藤 孝一	面（木村定三コレクション）	不詳
16	二見 彰一	青い椅子（木村定三コレクション）	1975年
17	二見 彰一	とぎれたフーガ（木村定三コレクション）	1976年
18	南 桂子	少女と風船（木村定三コレクション）	1962年
19	小林 研三	羊たちのいる幸せな風景（木村定三コレクション）	1970年
20	マン・レイ	回転扉（道化）	1972(1926)年
21	マン・レイ	回転扉（オーケストラ）	1972(1926)年
22	井上 公三	花の園 I（木村定三コレクション）	1984年
23	井上 公三	ボプラの秋（木村定三コレクション）	1978年

関 連 事 業：①記念講演会「美術のたのしみ」村田企画業務課長

11月20日（木）11：00～ 参加人数：50名

②展示解説会（ギャラリー・トーク）

藤島主任学芸員

11月22日（土）

11：00～／14：00～ 参加人数：延べ 24名

③学校団体鑑賞会

参加校：6校 参加人数：延べ 534名

解説：高橋美術課長、鯨井主任学芸員、深山主任

学芸員、藤島主任学芸員、大島学芸員、副
田学芸員、近藤学芸員、池田学芸員

入 場 者 数：ギャラリー 2,286人（1日平均228人）
響きホール 2,543人（1日平均254人）



ギャラリー



響きホール

フォーラムプロジェクト

芸術文化センター活性化事業の一環として、フォーラムなどで所蔵作品を展示した。

- 第1回「加納光於 オブジェ」〔地下2階通路〕、
柳原義達〔2階フォーラム〕、
加藤昭男〔地下2階フォーラムⅡ〕
- 第2回「中澤英明 子供の顔」〔地下2階通路〕、
柳原義達〔2階フォーラム〕、
土谷 武〔地下2階フォーラムⅡ〕
- 第3回「木内克 テラコッタ小品展 -猫と裸婦-」
〔地下2階通路〕、
柳原義達〔2階フォーラム〕、
土谷 武〔地下2階フォーラムⅡ〕
- 第4回「加藤孝一のテラコッタ」
〔地下2階通路〕、
土谷 武〔地下2階フォーラムⅡ〕
- 第5回「小さな彫刻」柳原義達、山本豊一、本郷 新、熊谷
守一、掛井五郎、木内 克、浜田知明〔地下2階通路〕、
土谷 武〔地下2階フォーラムⅡ〕



愛知県陶磁資料館における長期展示

平成20（2008）年度から愛知県陶磁資料館の常設展で木村定三コレクションの陶磁器の公開を始めた。同年度は18点を公開した。

入場者数：34,782人（うち小中生4,062人）

- | | |
|-------------|------------|
| 1. 楽 長次郎 | 黒茶碗 銘苔志水 |
| 2. 信楽 | 手付花入 |
| 3. 京都 | 色絵桜柳文筒花入 |
| 4. 瀬戸・伝民吉 | 染付鶴波図花入 |
| 5. 有田 | 色絵亀甲文角瓶 |
| 6. 美濃 | 織部巻物文手鉢 |
| 7. 唐津 | 絵唐津向付 |
| 8. 有田 | 染付紅葉鉢 |
| 9. 源内 | 緑釉日本地図角鉢 |
| 10. 唐津 | 絵唐津壺 |
| 11. 美濃 | 赤織部茶碗 |
| 12. 唐津 | 瀬戸唐津茶碗 銘白珠 |
| 13. 萩 | 萩筆洗形茶碗 |
| 14. 朝日 | 朝日茶碗 |
| 15. 美濃 | 志野飛燕文香合 |
| 16. 赤膚 奥田木白 | 色絵太鼓香合 |
| 17. 太田垣蓮月 | 亀香合 |
| 18. 隅田川焼 | 都鳥香合 |

2 企画展

1992年度から2008年度までの企画展の入場者数（展覧会別）

年度	展 覧 会 タ イ ト ル	会 期		日数(日)	入場者(人)	一日平均(人)
92年度	フォーヴィスムと日本近代洋画	92/10/30	92/12/20	45	41,343	919
	近代の日本画－西洋との出会いと対話	93/01/05	93/02/11	33	26,166	793
	20世紀 愛知の美術	93/02/19	93/03/21	27	11,585	429
	年度合計			105	79,094	753
93年度	パウル・クレーの芸術	93/04/02	93/05/23	45	103,239	2,294
	小川芋銭展	93/06/04	93/07/04	27	26,106	967
	現代の陶芸1950-1990展	93/07/16	93/08/22	33	13,153	399
	安田靫彦展	93/09/03	93/10/17	39	43,003	1,103
	リール市美術館所蔵－バロック・ロココの絵画	93/10/29	94/01/16	63	47,042	747
	戸張孤雁と大正期の彫刻	94/01/25	94/03/06	36	7,996	222
	色彩の宇宙 クブカ展	94/03/18	94/05/08	45	33,652	748
	年度合計			288	274,191	952
	累 計			393	353,285	899
94年度	杉本健吉展	94/05/14	94/06/02	17	19,568	1,151
	シカゴ美術館展－近代絵画の100年－	94/06/10	94/07/24	38	89,204	2,348
	レジェ展	94/08/05	94/09/11	33	22,793	691
	聖なるかたち 後期ゴシックの木彫と板絵－アーヘン市立ズエルモント＝ルードヴィヒ美術館所蔵	94/09/23	94/11/03	37	27,976	756
	没後20年 香月泰男展	94/11/18	95/01/16	46	27,164	591
	アンドリュース・ワイエス展－アメリカの郷愁 心の風景を描く	95/02/03	95/04/02	51	120,177	2,356
	年度合計			222	306,882	1,382
	累 計			615	660,167	1,073
95年度	ウィーンのジャポニスム	95/04/11	95/05/14	30	27,803	927
	フランツ・ゲルチュ	95/05/26	95/07/02	33	22,392	679
	還流－日韓現代美術展	95/07/14	95/09/03	45	25,072	557
	ウィンザー城王立図書館所蔵 レオナルド・ダ・ヴィンチ人体解剖図	95/09/15	95/10/15	27	68,439	2,535
	表現主義彫刻	95/10/27	96/01/15	64	12,428	194
	リチャード・マイヤーとフランク・ステラー建築と絵画の接点	96/02/02	96/04/07	57	16,599	291
	年度合計			256	172,733	675
	累 計			871	832,900	956
96年度	大英博物館所蔵イタリア素描展	96/04/19	96/05/26	33	30,973	939
	抽象表現主義展－アメリカ黄金期の絵画	96/07/26	96/09/16	46	19,005	413
	富岡鉄斎展－理想郷を語る	96/09/27	96/11/10	39	25,680	659
	北川民次展－愛と人間をえがく	96/11/22	97/01/26	51	28,789	565
	カンディンスキーとミュンター 愛と創造の日々 1901-1917	97/02/08	97/03/16	32	22,891	715
	没後50年 ボナール展	97/03/28	97/05/18	45	54,094	1,202
	年度合計			246	181,432	738
	累 計			1,117	1,014,332	908
97年度	理智と幻想のシュルレアリスト 北脇 昇展	97/05/30	97/07/13	39	15,951	409
	モダンデザインの父 ウィリアム・モリス展	97/07/25	97/08/31	33	54,835	1,662
	20世紀美術の冒険－セザンヌ、ファン・ゴッホから現在まで－アムステルダム市立美術館コレクション展	97/09/12	97/11/03	46	31,750	690
	イタリア美術 1945-1995－見えるものと見えないもの	97/11/14	98/01/15	48	16,739	349
	近代美術の100年－愛知県美術館コレクションの精華－	98/01/30	98/03/08	33	17,985	545
	川合玉堂展－めぐりゆく季節－	98/03/20	98/05/05	41	70,936	1,730
	年度合計			240	208,196	868
	累 計			1,357	1,222,528	901
98年度	久野真・庄司達展－鉄の絵画と布の彫刻－	98/05/15	98/06/07	21	10,236	487
	ナイアガラを越えて…オルブライト＝ノックス美術館展 名画への誘い	98/06/19	98/08/02	39	66,342	1,701
	生誕100年記念 佐伯祐三展	98/08/16	98/09/27	37	39,972	1,080
	アルトゥング	98/10/09	98/12/13	57	18,845	331
	没後50年 松本竣介	99/01/08	99/02/21	39	24,551	630
	ブッサンとラファエッロ 借用と創造の秘密	99/03/05	99/04/11	33	13,387	406
	年度合計			226	173,333	767
	累 計			1,583	1,395,861	882
99年度	魔法の庭…詩とかたちのフーガ「ファウスト・メロディ展」	99/04/23	99/06/13	45	13,614	303
	前田寛治の芸術－詩情と造形－	99/07/02	99/08/22	45	14,851	330
	危機の時代と絵画 1930-1945	98/09/03	98/10/17	39	8,379	215
	生誕100年 関根正二展	99/10/29	99/12/12	39	22,719	583

年度	展 覧 会 タ イ ト ル	会 期	日数(日)	入場者(人)	一日平均(人)
	セザンヌ展	00/01/05 00/03/12	59	171,060	2,899
	年度合計		227	230,623	1,016
	累 計		1,810	1,626,484	899
00年度	レンブラント・フェルメールとその時代 アムステルダム国立美術館所蔵17世紀オランダ美術展	00/04/07 00/06/18	63	104,226	1,654
	田中恭吉展	00/07/15 00/08/27	38	22,788	600
	加納光於 「骨の鏡」あるいは色彩のミラージュ	00/09/15 00/11/05	45	11,606	258
	アメリカン・ドリームの世紀展	00/11/23 01/01/28	52	25,390	488
	岸田劉生展	01/02/09 01/04/01	45	38,752	861
	年度合計		243	202,762	834
	累 計		2,053	1,829,246	891
01年度	メルツバッハー・コレクション展	01/04/13 01/05/27	39	47,245	1,211
	ロダンと日本	01/06/22 01/08/19	51	57,339	1,124
	バックミンスター・フラー展	01/09/14 01/11/04	45	10,962	244
	世界遺産 ポンペイ展	02/02/08 02/04/07	51	101,367	1,988
	年度合計		186	216,913	1,166
	累 計		2,239	2,046,159	914
02年度	開館10周年記念 大英博物館所蔵フランス素描展	02/04/26 02/06/30	57	25,638	450
	開館10周年記念 韓国の色と光	02/07/26 02/09/23	52	10,652	205
	開館10周年記念 ミロ展	02/10/04 02/12/01	51	83,084	1,629
	開館10周年記念 中西夏之展	02/12/20 03/02/23	51	14,525	285
	年度合計		211	133,899	635
	累 計		2,450	2,180,058	890
03年度	菱田春草展	03/04/11 03/05/18	33	53,578	1,624
	戸谷成雄 森の髪の行方	03/06/06 03/07/27	45	12,934	287
	レオン・スピリアルト	03/08/05 03/09/23	43	15,674	365
	空海と高野山	03/10/10 03/11/24	40	109,612	2,740
	中村彝の全貌	04/01/06 04/02/29	48	20,004	417
	年度合計		209	211,802	1,013
	累 計		2,659	2,391,860	900
04年度	ベン・ニコルソン展	04/04/09 04/05/23	39	10,855	278
	野見山暁治展	04/06/04 04/07/19	40	7,310	183
	国吉康雄展	04/08/06 04/09/26	45	24,702	549
	木村定三コレクションによる熊谷守一展	04/10/08 04/12/05	51	17,555	344
	自然をめぐる千年の旅 山水から風景へ	05/03/11 05/05/08	51	63,052	1,236
	年度合計		226	123,474	546
	累 計		2,885	2,515,334	872
05年度	アジアの潜在力 ―海と島が育んだ美術―	05/05/24 05/07/10	42	8,109	193
	ゴッホ展 ―孤高の画家の原風景―	05/07/26 05/09/25	54	423,745	7,847
	生誕100年記念 吉原治良展	05/12/16 06/02/26	57	12,651	222
	江戸絵画 ―小世界を愉しむ― 木村定三コレクションの近世絵画	06/03/10 06/05/07	63	14,260	226
	年度合計		216	458,765	2,121
	累 計		3,101	2,974,099	959
06年度	愛知曼陀羅―東松照明の原風景―	06/06/02 06/07/23	45	18,181	404
	愉しき家	06/08/04 06/10/01	51	13,831	271
	ベルシャ文明展	06/10/13 07/12/10	51	62,194	1,219
	ルソーの見た夢／ルソーに見る夢	06/12/20 07/02/12	42	35,389	842
	年度合計		189	129,595	685
	累 計		3,290	3,103,694	943
07年度	ブライスコレクション 若沖と江戸絵画	07/04/13 07/06/10	52	92,852	1,786
	20世紀美術の森	07/06/29 07/08/26	51	13,964	274
	サイクルとりサイクル	07/09/07 07/11/04	51	11,595	227
	ロートレック展	07/11/13 08/01/14	49	50,042	1,021
	年度合計		261	168,453	645
	累 計		3,551	3,272,147	921
08年度	杉本健吉展	08/04/04 08/06/01	51	16,721	328
	誌上のユートピア ―近代日本の絵画と美術雑誌 1889～1915―	08/06/14 08/07/27	38	9,545	251
	ライオネル・ファイニンガー	08/10/17 08/12/23	58	12,693	209
	アンドリュース・ワイエス 創造への道程	09/01/04 09/03/22	55	62,245	1,132
	年度合計		202	101,204	501
	累 計		3,753	3,373,351	898

2008年（平成20）年度企画展開催状況

新収蔵記念『杉本健吉展』

会 期：2008年4月4日（金）～ 6月1日（日）[51日間]

主 催：愛知県美術館、中日新聞社、

財団法人自治総合センター

後 援：愛知県・岐阜県・三重県・名古屋市各教育委員会

特別協力：財団法人杉本美術館、東大寺

協 力：名古屋鉄道株式会社

担 当：深山孝彰、中村史子、長屋菜津子、（木本文平）

休 館 日：毎週月曜日〔ただし5月5日（月・祝）は開館、

翌々日5月7日（水）が休館〕

観 覧 料：一般1,000（800）円

高校・大学生700（500）円 小・中学生無料

*（ ）内は前売り、及び20名以上の団体料金

出 品 点 数：168件261点

入 場 者 数：16,721人（一日平均：328人）

展覧会巡回先：なし

内容と結果：

1905年名古屋市に生まれた杉本健吉は、1940年代に奈良を題材とした作品で注目され、1950年から吉川英治の連載小説『新・平家物語』や『私本太平記』、『新・水滸伝』などの挿絵を担当して全国的に知られる存在となった。洋画と日本画、油彩と素描といった区分を越えた自由闊達な画風を確立した杉本は、1960年代以降は海外旅行の感興などを描き、1987年には愛知県美浜町に杉本美術館が開館して、2004年98歳で亡くなるまでその作品と人柄で多くの人々を魅了し続けた。

1994年に油彩を主とした回顧展を開催した当館は、杉本の意向を受け継いだ遺族から、2004年に196件（実数千点以上）の作品を受贈した。今回の展覧会は多くが初公開となるこの受贈品を主とし、杉本美術館などの代表作や、前回展以降の最晩年に杉本が取り組んだ幡やオブジェなどを加えて構成した。年代に沿った5章構成のうち特に第3章を「新・平家物語」として中心に据え、杉本が連載時から新版発行の度に繰り返し描いた挿絵原画や画稿94点を比較研究的に展示したほか、最初期の作品は前回展よりも十年以上遡り、また東大寺の大仏開眼1250年記念供養に用いられた杉本原画による幡を10階ロビーと2階フォーラムに設置するなど新味を図った。

入場者数は想定数に届かず、没後4年を経て、杉本作品を鑑賞する新たな客層（特に若い世代）の開拓などの課題が残ったが、来場者からは、初公開作品や『新・平家』挿絵といった見所に対して高評価を得られた。

展覧会カタログ：

B5判変形（26×19cm）176ページ

編 集：愛知県美術館

制 作：株式会社求龍堂

発 行：愛知県美術館、中日新聞社



関連事業：

○記念講演会

4月19日（土）13：30～15：00

講 師：吉川英明（吉川英治記念館長）

演 題：「吉川英治と杉本健吉－新・平家物語を通じて」
152名

5月17日（土）13：30～15：00

講 師：木本文平（碧南市藤井達吉現代美術館長）

演 題：「画家・杉本健吉の生涯」 114名

○ギャラリー・トーク

4月12日（土・祝） 11：00～11：50 講師：深山孝彰 14名
4月24日（木） 11：00～11：50 講師：深山孝彰 18名
5月10日（土） 11：00～11：50 講師：中村史子 24名
5月22日（木） 11：00～11：50 講師：中村史子 25名

○小・中・高の先生方との鑑賞学習交流会

4月19日（土） 15：20～15：50 講師：深山孝彰 29名

○友の会会員のための特別鑑賞会

4月17日（木） 10：00～12：00 講師：深山孝彰 18名
4月24日（木） 17：30～19：30 講師：深山孝彰 19名



関連記事：

【新聞】

- ・深山 孝彰「新収蔵記念杉本健吉展 ㊤」
東大寺二月堂湯屋附近
『中日新聞』2008年4月8日
- ・中村 史子「新収蔵記念杉本健吉展 ㊤」
あわれ月夜かな（五条橋）
『中日新聞』2008年4月9日
- ・深山 孝彰「新収蔵記念杉本健吉展 ㊤ 仕事場」
『中日新聞』2008年4月10日
- ・三沢 典丈「名作のとびら 杉本健吉「大和風景」
愛知県美術館蔵 ゆがみが生む実在感」
『中日新聞』2008年4月29日
- ・太田 哲弥「健吉先輩やっぱすごい」
『中日新聞（県内版）』2008年4月29日
- ・小林 裕子「『新・平家物語』原画鮮やか」
愛知県美術館で杉本健吉展」
『朝日新聞』2008年5月13日

【雑誌その他定期刊行物】

- ・深山 孝彰「新収蔵記念杉本健吉展『新・平家』挿絵などの受贈作品に、代表作を加えて構成」
『新美術新聞』No1150 2008年4月21日



『誌上のユートピア 近代日本の絵画と美術雑誌 1889-1915』展

会 期：2008年6月14日（土）～ 7月27日（日）〔38日間〕
主 催：愛知県美術館、読売新聞社、中京テレビ放送、美術館連絡協議会
後 援：愛知県・岐阜県・三重県・名古屋市各教育委員会
協 賛：ライオン、清水建設、大日本印刷、三菱商事
担 当：鯨井秀伸、森 美樹
休 館 日：毎週月曜日〔ただし7月21日（月・振）は開館〕
観 覧 料：一般1,000（800）円
高校・大学生700（500）円 小・中学生無料
＊（ ）内は前売り、及び20名以上の団体料金

出 品 点 数：420点

入 場 者 数：9,545人（一日平均251人）

展覧会巡回先：神奈川県立近代美術館葉山

2008年1月26日～3月9日（38日間）5,700人

うらわ美術館

2008年4月26日～6月8日（38日間）2,800人

内容と結果：

「誌上のユートピア」と題した本展は、19世紀から20世紀の世紀の転換期に、目覚しく発展した印刷技術を背景に次々と生まれた日本近代の主要な美術雑誌を紹介し、その美的な価値を再確認するとともに、同時代の日本近代の絵画にもスポットを当て、その相互関係にも注目しようとする試みであった。

会場構成は巡回館共通の6章（「ヨーロッパにみる美術雑誌の隆盛」「白馬会周辺の展開」「京都の浅井忠と神坂雪佳」「『方寸』と創作版画の出發」「伝統と変容」「教養とデカダンス」）で構成すると共に、当館のみの展示作品も加えて展示構成を行った。

本展は、導入部として『ユーゲント』などヨーロッパの美術雑誌の事例をいくつか紹介し、それらが日本においてほぼ同時に芸術的な美術雑誌と連動し、いくつかの同時代意識に裏打ちされた新たな表現が生まれた。それが、ときに江戸趣味へと回帰しながら、ついには象徴主義的な気分を背景に抽象表現までが追及されたことを明らかにできた。

広報面ではポスターの掲出や図版解説付き新聞広告、TVでのスポット広告放映といった工夫、主要書店との協力などをおこない、教育面では講演会やスライドトーク、団体への説明会などを行った。本展では若い世代、特に学生が多く含まれていたことの意義も大きいと思われる。

また入場者数は多くはなかったものの、事後のジャーナリズムでの評価や掲載論文の受賞など評価の高い展覧会だった。

展覧会カタログ：

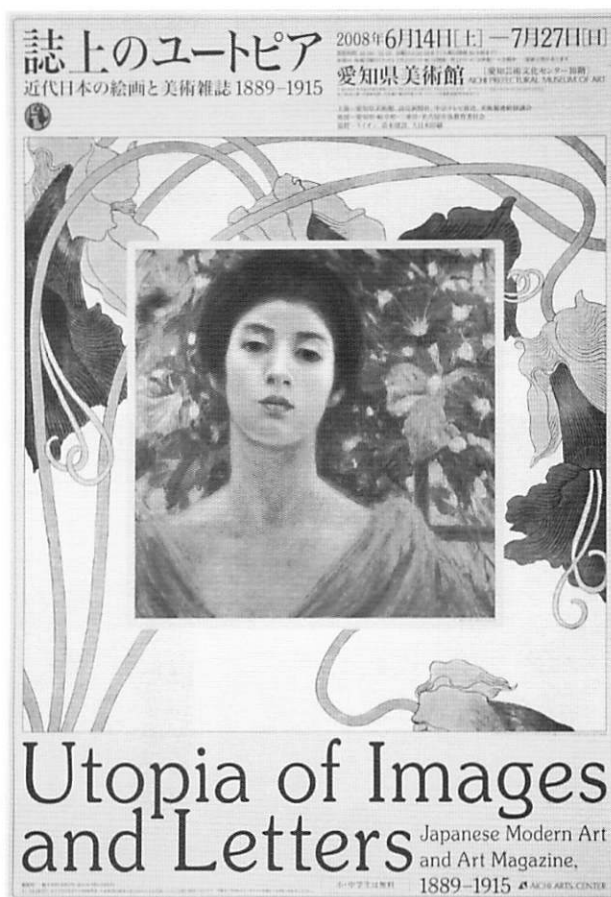
A4判変形（17.5×22.0cm）360ページ

編 集：神奈川県立近代美術館

編集協力：うらわ美術館、愛知県美術館

制 作：コギト

発 行：美術館連絡協議会



関連事業：

○記念講演会

7月5日（土）13：30～15：00

講師：池田裕子（京都国立近代美術館主任研究官）

演題：「琳派そして西洋との出会い

モダンデザインの先駆者 神坂雪佳」 80名

○学芸員による展示説明会

6月28日（土）11：00～11：40 講師：鯨井秀伸 28名

7月12日（土）11：00～11：40 講師：森 美樹 25名

7月19日（土）11：00～11：40 講師：鯨井秀伸 23名

○先生方との鑑賞学習交流会

7月5日（日）15：30～16：00 講師：鯨井秀伸 27名

○友の会会員のための特別鑑賞会

6月19日（木）10：00～12：00 講師：鯨井秀伸 22名

主要関連記事

【新聞】

・鯨井 秀伸「誌上のユートピア 印刷の発達芸術を刺激」

『読売新聞』2008年6月13日朝刊

・浅野 和生「咲いた芸術の花」

『中日新聞』2008年6月24日朝刊

・小林 裕子「華の雑誌 目覚める視覚」

『朝日新聞』2008年7月1日朝刊

・山脇佐江子「美術家と雑誌のかかわり検証」

『日本経済新聞』2008年7月3日朝刊

【雑誌その他定期刊行物】

・辺見 海「誌上のユートピア」

『版画芸術』No.13 2008年春号

・橋 秀文「近代日本の美術雑誌の諸問題」

『美術フォーラム21』Vol.18 2008年

・原沢 暁子「展評 誌上のユートピア」

『アートペーパー』第78号 2008年夏

（名古屋市美術館）

・中村 英樹 ・坪戸 雅彦 ・高橋 綾子 ・井上 隆生

「東海の展覧会この一年」

『朝日新聞』 2008年12月16日



『ライオネル・ファイニンガー』展

会 期：2008年10月17日（金）～12月23日（火・祝）[58日間]

主 催：愛知県美術館、中日新聞社

後 援：アメリカ大使館、ドイツ連邦共和国大使館、
愛知県・岐阜県・三重県・名古屋市各教育委員会

協 賛：日本航空

担当学芸員：古田浩俊、大島徹也

休 館 日：毎週月曜日〔ただし11月3日（月・祝）、
11月24日（月・振休）は開館〕、

11月4日（火）、11月25日（火）

観 覧 料：一般1,200（1,000）円

高校・大学生900（700）円 小・中学生無料

*（ ）内は前売り、及び20名以上の団体料金

出 品 点 数：138点

総入場者数：12,693人（1日平均入場者数219人）

展覧会巡回先：横須賀美術館

2008年8月2日～10月5日（63日間）23,148人

宮城県美術館

2009年1月10日～2010年3月1日（44日間）6,842人

内容と結果

「日本初の回顧展」と広報印刷物でうたっているとおり、この知られざる巨匠の全貌を「新聞連載漫画」「初期人物像」「キュビズムの発見」「この世界の果てにある都市—おもちゃ」「バウハウスと建築」「バルト海／風景」「ニューヨーク：新たな展望」の7つの章によって、日本で始めて包括的に紹介した展覧会であった。『シカゴ・サンデー・トリビューン』紙に連載された25点の漫画は、キュビズム受容以前の代表作であり、これによって画家ファイニンガーの知られざる一面を大々的に紹介できた。この漫画の一部の作品に、吹き出しを和訳した原寸大パネルを並べて展示し、内容理解の一助とした。展覧会の核を成した〈「ハレ」の連作〉や《ゲルメローダⅫ》といったファイニンガーの最高傑作を含む一連の作品は、ファイニンガーを巨匠と呼ぶにふさわしい画家であることを再認識させた。また、ファイニンガーが子供たちのために作った木製玩具を使い、監修者と当館学芸員が共同で愛知会場だけの架空の街を作り、舞台をつけて俯瞰的にも見られるような工夫もし、ファイニンガーの別の一面を見せることができた。ファイニンガーもクリスマス・ツリーのオーナメントを作っており、展覧会の会期もクリスマス直前までだったので、12月に入ってからクリスマス・ツリーのオーナメントをカラー紙粘土で作るイベントを行った。来館者増加につながる効果は顕著にはみられなかったが、ロビーに可愛らしいオーナメントのぶら下がったツリーがあることで、美術館に華やいだ雰囲気生まれた。

ファイニンガーに関する画集も単行図書もないわが国の状況にあつて、本展のカタログは貴重な文献資料となった。

展覧会カタログ：

A4判変形（28×22.4cm）200ページ

編 集：横須賀美術館、愛知県美術館、
宮城県美術館、東京新聞

制 作：リーヴル

発 行：東京新聞



関連事業：

○記念講演会

11月1日（土）13：30～15：00

講 師：宮下 誠（國學院大学教授）

演 題：「ファイニンガーとクレール」

—音楽から造形へ— 89名

○ギャラリー・トーク（学芸員による展示説明会）

10月25日（土）11：00～11：40 講師：大島徹也 25名

11月15日（土）11：00～11：40 講師：大島徹也 15名

11月29日（土）11：00～11：40 講師：古田浩俊 25名

12月13日（土）11：00～11：40 講師：大島徹也 36名

○小・中・高の先生方との鑑賞学習交流会

11月1日（土）15：30～16：00 講師：大島徹也 32名

○友の会会員のための特別鑑賞会

10月23日（木）10：00～12：00 講師：古田浩俊 15名

17：30～19：30 講師：古田浩俊 20名

○クリスマス・イベント

「クリスマス・ツリーのオーナメントを作ろう」

12月7日（日）～12月23日（火・祝）

開館時間内随時 於美術館ロビー

関連記事：

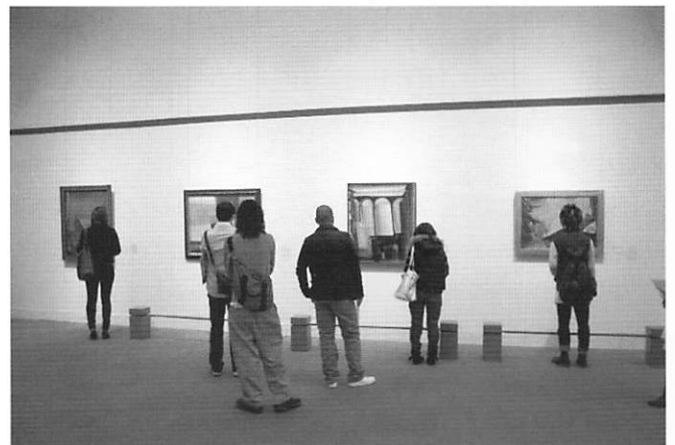
【新聞】

- ・（無記名）「ファイニンガー 晩年までの140点
開幕前に内覧会」
『中日新聞』2008年10月17日朝刊
- ・（無記名）「知られざる巨匠
日本初の紹介 ファイニンガー展」
『名古屋タイムズ』2008年10月21日
- ・（無記名）「音楽から造形題材に講演会
ファイニンガー展を記念」
『中日新聞』2008年10月21日
- ・矢吹 伸彦「ライオネル・ファイニンガー展 上《西の海》」
『中日新聞』2008年10月30日朝刊
- ・安西 水丸「ライオネル・ファイニンガー展 中
《カーニヴァル》」
『中日新聞』2008年10月31日朝刊
- ・矢吹 伸彦「ライオネル・ファイニンガー展 下《木製玩具》」
『中日新聞』2008年11月1日朝刊
- ・大島 徹也「ライオネル・ファイニンガー展
クリスタルの輝きを持つ男」
『中日新聞』2008年11月27日夕刊
- ・（無記名）「ライオネル・ファイニンガー展」
『県民福井』2008年11月14日
- ・中村英樹、坪戸雅彦、高橋綾子、井上隆生
「東海の展覧会この1年」
『朝日新聞』2008年12月16日朝刊

【雑誌その他定期刊行物】

- ・松下 智子「この企画展はまじりっけなし！
ライオネル・ファイニンガー展」
『空中回廊』No.27 2008年9月

- ・大島 徹也「ライオネル・ファイニンガー展
光のクリスタル」
『AAC』No.58 2008年9月
- ・（無記名）「日本で初めての回顧展」
『なごや地下鉄ガイド・秋号』2008年10月1日
- ・（無記名）「ライオネル・ファイニンガー展 光のクリスタル
クリスタルのような絵画世界と漫画・風刺画など
約140点を一挙公開」
『なごやさくら』2008年11月号
- ・（無記名）「20世紀の知られざる巨匠、
日本初の回顧展が開催！」
『ぴあ』中部版 2008年10月23日号
- ・（無記名）「まだいた！ 20世紀の知られざる巨匠
ファイニンガーってどんな人？」
『ぴあ』中部版 2008年11月6日号
- ・（無記名）「ライオネル・ファイニンガー展
光のクリスタル」
『AXIS』2008年12月号
- ・（無記名）「愛知県美術館「ライオネル・ファイニンガー展」
『ふれんどあさひ』2008年11月18日



『アンドリュー・ワイエス ー創造への道程』展

会 期：2009年1月4日（日）～ 3月8日（日）〔55日間〕
主 催：愛知県美術館、中日新聞社
特 別 協 力：アンドリュー・ワイエス夫妻、丸沼芸術の森
後 援：在日米国大使館、在名古屋米国領事館、名古屋アメリ
カン・センター、愛知県・岐阜県・三重県・名古屋
市各教育委員会
協 賛：損害保険ジャパン、大日本印刷
協 力：全日本空輸、日本ビクター、J R東海
担当学芸員：高橋秀治、森 美樹、副田一穂、藤島美菜
休 館 日：毎週月曜日

〔ただし1月12日（月・振）は開館、
翌13日（火）は休館〕

観 覧 料：一般1,200（1,000）円
高校・大学生900（700）円 小・中学生無料
＊（ ）内は前売り、及び20名以上の団体料金

出 品 点 数：150点

総入場者数：62,245人（一日平均1,132人）

展覧会巡回先：Bunkamura ザ・ミュージアム
2008年11月8日～12月23日（46日間）75,638人
福島県立美術館
2009年3月17日～5月10日（50日間）20,109人

内容と結果：

1995年に一度開催した大回顧展の「アンドリュー・ワイエス展」とは趣旨を変え、今回の展覧会はワイエスの制作の過程を焦点に当てた。習作と完成作と一緒に展示し、制作の過程でどのような関心を持って、どのような技法でモチーフを描くかを紹介した。

会場構成は3章で構成し、1章では初期に描かれた「自画像」について紹介し、2章、3章ではメイン州とペンシルヴェニア州という、ワイエスが作品を描いた二つの土地に分けて、それぞれ作品を紹介した。特に2章の「メイン州」では、習作と完成作という展示以外に、「オルソン・ハウスをめぐる物語」と題し、画家とオルソン・ハウスやオルソン姉弟にかかわる作品を展示し紹介した。

展覧会には、ワイエス夫妻所蔵の全面的な協力のものに貸し出された作品をはじめ、アメリカ各地の美術館のほか日本ではワイエス作品を多く所蔵している丸沼芸術の森、福島県立美術館、画廊や個人蔵などから世界初公開、日本初公開となる重要な作品が出品された。さらに、生前、最後のビデオ映像も会場で紹介し、今回の展覧会の濃い内容とワイエスの制作過程を示す展覧会コンセプトに対する評価は高く、またワイエスに関する日本人の関心

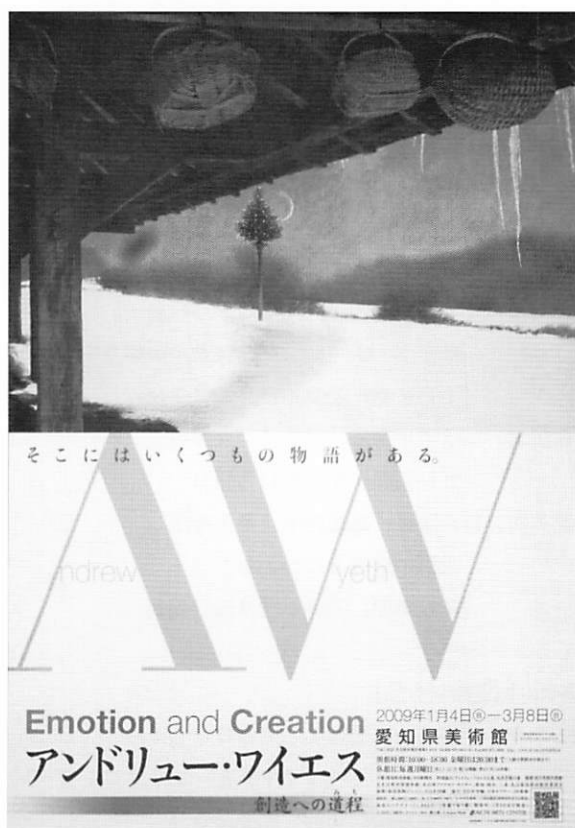
は高いにもかかわらず、95年以降大きな展覧会は開催されず、さらに期間中にワイエスが逝去され話題を集めたことから、多くの来場者を動員することができた。

展覧会の関連事業として、会期中のバレンタインデーにあわせて「I♥AW」というイベントを行った。これは展示された作品のうちで気に入った作品を選び、その感想やワイエスへのメッセージをハートのカードに書き込み、それを展示室内のパネルに貼っていくというもの。多くの人がこのイベントに参加し、ワイエスや作品に対する想いをメッセージに託していた。展覧会終了後にこれらのメッセージはワイエスコレクションを管理している学芸員へ送り、ワイエス夫人に渡していただくようお願いした。

広報面ではポスターの掲出や県内小中学生への無料券配布などをおこない、教育面では講演会やスライドトークなどを行った。また県内小中高の先生と協同で子供向けにワークショップを行ったり、鑑賞ガイドを作成した。95年の展覧会で一度ワイエスの作品を観た世代だけでなく、約15年後の今回の展覧会では、また新たな若い鑑賞者も多かったことも成果の一つであると思われる。

展覧会カタログ：

A 4判変形（28×22.5cm）206ページ
編 集：愛知県美術館、福島県立美術館
制 作：印象社
発 行：愛知県美術館、中日新聞社



関連事業：

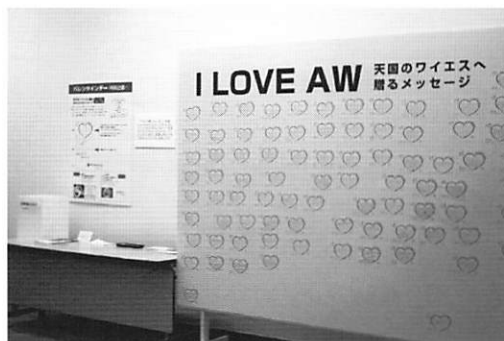
○記念講演会

1月10日（土）13：30～15：00

講師：高橋秀治（ヴィクトリア・ワイエス氏に代わり）

演題：「私の祖父、アンドリュー・ワイエス」180名

*予定講師のヴィクトリア・ワイエス氏が来日できなかったため、展覧会監修者の高橋秀治美術課長が代りに講師を務め、予定されていた講演会の原稿に注釈を加えながら作品の解説を行った。



○スライド・トーク

（学芸員によるスライドを使つての展覧会の説明会）

1月9日（金）18：00～18：40 講師：高橋秀治 45名

1月22日（木）11：00～11：40 講師：高橋秀治 40名

2月5日（木）11：00～11：40 講師：森 美樹 30名

2月13日（金）18：00～18：40 講師：森 美樹 17名

2月21日（土）11：00～11：40 講師：副田一穂 71名

○小・中・高の先生方との鑑賞学習交流会

1月17日（土）14：00～14：30 講師：高橋秀治 103名

○友の会会員のための特別鑑賞会

1月8日（木）10：00～12：00 講師：高橋秀治 24名

1月8日（木）17：30～19：30 講師：高橋秀治 23名

○鑑賞ワークショップ

1月24日（土）10：00～12：00 「ワイエス・ワーイ！！」

対象：小学1～3年生 講師：教員8名 参加者：18名

1月24日（土）14：00～16：00 「かかさな絵を描こう！」

対象：小学4～中学生 講師：教員5名 参加者：19名

1月25日（日）13：00～16：00 「鉛筆デッサンをしよう」

対象：高校生 講師：教員5名 参加者：33名

○視覚に障害のある方へのプログラム

2月26日（木）10：30～12：00 参加者8名

YWCAガイドボランティア13名

2月26日（木）14：00～15：30 参加者2名

YWCAガイドボランティア6名

2月28日（土）10：30～12：00 参加者17名

YWCAガイドボランティア17名

2月28日（土）14：00～15：30 参加者5名

YWCAガイドボランティア10名

主要関連記事：

【新聞】

- ・（無記名）「ワイエス氏の作品到着」
『中日新聞』2008年9月26日（朝刊）
- ・猪飼なつみ「ワイエス展 開幕待つ」
『読売新聞』2008年12月30日（朝刊）
- ・（無記名）「ワイエスの魅力150点」
『中日新聞』2009年1月5日（朝刊）
- ・高橋 秀治「アンドリュー・ワイエス
創造への道程 感動を描ききる」
『中日新聞』2009年1月11日（朝刊）
- ・（桂）「アンドリュー・ワイエス
創造への道程 信頼重ね企画実現」
『読売新聞』2009年1月10日（朝刊）
- ・（無記名）「冥福祈ってファン鑑賞
愛知県美術館 ワイエス氏企画展」
『中日新聞』2009年1月17日（夕刊）
- ・（無記名）「子供タイムズ 描き方いろいろ ワイエスの絵」
『中日新聞』2009年1月18日（朝刊）
- ・小林 裕子「米の原風景 哀愁誘う」
『朝日新聞』2009年1月20日（朝刊）
- ・高橋 秀治「A・ワイエス氏を悼む 時間を凝縮させた深み」
『読売新聞』2009年1月20日（朝刊）
- ・高橋 秀治「A・ワイエス氏を悼む 底流に質素な建国時代」
『中日新聞』2009年1月22日（夕刊）
- ・（無記名）「文化往来
自然と日本の情感を描き続けたワイエス」
『日本経済新聞』2009年1月20日（朝刊）
- ・高橋 秀治「アンドリュー・ワイエス 創造への道程
作品解説・上 《鉄兜》（《松ぼっくり男爵》習作）」
『中日新聞』2009年1月20日（朝刊）
- ・副田 一穂「アンドリュー・ワイエス 創造への道程
作品解説・中 《幻影》」
『中日新聞』2009年1月21日（朝刊）

- ・ 森 美樹「アンドリュー・ワイエス 創造への道程」
作品解説・下 《そよ風》
『中日新聞』2009年1月22日（朝刊）
- ・ （無記名）「作中人物 どんな気持ち？」
ワイエス展 小中生向け鑑賞学習
『中日新聞』2009年1月25日（朝刊）
- ・ 浅野 和生「アンドリュー・ワイエス
創造への道程展 長い熟成で結晶化」
『中日新聞』2009年1月27日（朝刊）
- ・ 小沢 征良「私の好きな作品 《火打ち石》」
『中日新聞』2009年2月5日（夕刊）
- ・ 小沢 征良「私の好きな作品 《冬の水車小屋》」
『中日新聞』2009年2月6日（夕刊）
- ・ 小沢 征良「私の好きな作品 《三日月》」
『中日新聞』2009年2月7日（夕刊）
- ・ 山中 英之「内面への誠実なまなざし」
『京都新聞』2009年2月14日（朝刊）
- ・ 堀井 正純「孤高のリアリズム」
『神戸新聞』2009年2月18日（夕刊）
- ・ 海野 泰男「アンドリュー・ワイエス 本質と魅力」
『中日新聞』2009年2月20日（夕刊）



【雑誌その他定期刊行物】

- ・ 高橋 秀治「アンドリュー・ワイエス—創造への道程
対象に対する画家の強い思い」
『新美術新聞』2009年1月
- ・ （無記名）「アンドリュー・ワイエス 創造への道程」
『百兵衛』No.8 2009年
- ・ 城戸 わこ「中京美術界 アンドリュー・ワイエス」
『中部経済界』2009年2月号
- ・ （猿）「アンドリュー・ワイエス 創造への道程」
『全日本美術』2009年2月号
- ・ （無記名）「追悼 アンドリュー・ワイエス
時代に迎合しない画家が描いた心に響く世界」
『美術の窓』2009年3月号

N H K 教育テレビ

「はかなさに秘められた情念 ワイエスのアメリカ」
『新日曜美術館』2008年12月7日放送同日再放送、
2009年1月4日再々放送（高橋美術課長出演）

N H K 総合テレビ（名古屋）

「さらさらカルチャー
アンドリュー・ワイエスの魅力」
『さらさらサラダ』2009年2月6日（森学芸員出演）

3 教育普及

美術館では、社会の多様な要望に応えるため、教育普及事業の充実に努めてきた。講演会や作品解説会については、館内で行うギャラリートークなどのほか、県内市町村へ出向いて講演会などを開催する「出前講座」を実施した。また、教育現場との連携では、「鑑賞学習交流会」のほか「鑑賞学習ワーキンググループ」の研究会を開催した。また、子供対象の教育プログラムでは、愛知県が平成18年度から実施している「あいち子ども芸術大学」の事業として「夏休み子ども鑑賞会」を行うほか、展覧会に即したワークショップを開催した。友の会からは、企画展の広報や所蔵作品の保存備品作成作業などの支援を受けた。

1 出版・発行

○「新収蔵記念 杉本健吉展」

B 5 判変形 (26×19cm) 176ページ

編集：愛知県美術館

制作：株式会社求龍堂

発行：愛知県美術館 中日新聞社

杉本健吉の芸術 木本文平

図版

第一章 「画家をめざして」

第二章 「古都を描く」

第三章 「新・平家物語」

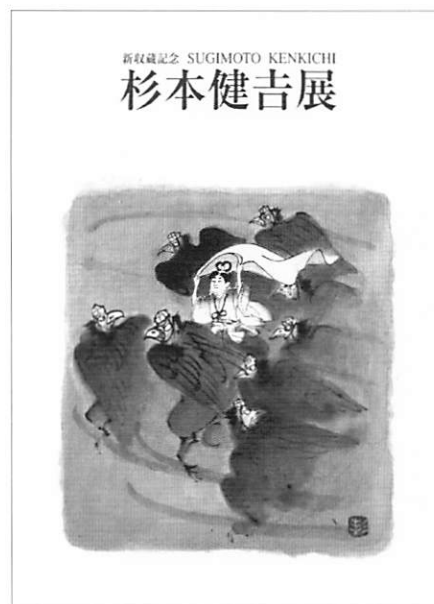
第四章 「世界を描く」

第五章 「生涯現役」

杉本健吉年譜

主要参考文献

出品目録



杉本健吉展

○「誌上のユートピア 近代日本の絵画と美術雑誌 1889～1915」展

A 4 判変形 (17.5×22.0cm) 360ページ

編集：神奈川県立近代美術館

編集協力：うらわ美術館、愛知県美術館

制作：コギト

眼の驚きと熱狂 — 美術雑誌の語ること

山梨俊夫

隠された誌上のユートピア

水上 勉

カタログ

I 章 ヨーロッパにみる美術雑誌の隆盛

II 章 白馬会周辺の展開

III 章 京都の浅井忠と神坂雪佳

IV 章 『方寸』と創作版画の出発

V 章 伝統と変容

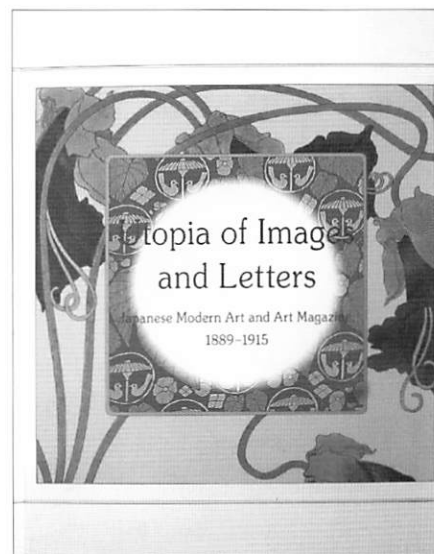
VI 章 教養とデカダンス

アート・ディレクター 北原白秋

橋 秀文

転換期美術の混淆と伝播

鯨井 秀伸



誌上のユートピア

主要作家解説

関連年表

主要参考文献

○「ライオネル・ファイニンガー」展

A 4 判変形 (28×22.4cm) 200ページ

編集：横須賀美術館、愛知県美術館、宮城県美術館、東京新聞

制作：リーヴル

発行：東京新聞

ライオネル・ファイニンガー

ードイツのアメリカ人 ニューヨーク、バウハウス、
そしてふたたびニューヨークへ ウルリヒ・ルックハルト

カタログ

I 新聞連載漫画

II 初期人物像

III キュビズムの発見

IV この世界の果てにある都市ーおもちゃ

V バウハウスと建築

VI バルト海／風景

VII ニューヨーク：新たな展望

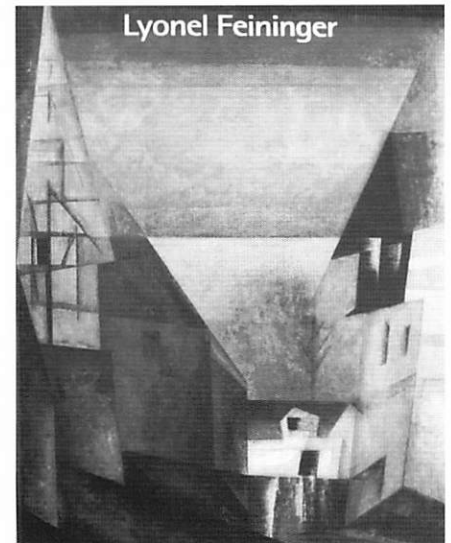
ファイニンガーの日本、あるいはジャポニスム 西村勇晴

日本のファイニンガーー《夕暮れの海Ⅰ》を中心に 古田浩俊

ファイニンガーの美術教育理論

ライオネル・ファイニンガー国内主要文献〔後藤文子編〕

出品作品一覧



ライオネル・ファイニンガー

○「アンドリュー・ワイエスー創造への道程ー」展

A 4 判変形 (28×22.5cm) 206ページ

編集：愛知県美術館 福島県立美術館

制作：印象社

発行：愛知県美術館 中日新聞社

アンドリュー・ワイエスー創造への道程 高橋秀治

図版／解説〔章解説：森 美樹、荒木康子／

作品解説：荒木康子、副田一穂、森 美樹、吉村有子〕

第1章：自画像

第2章：メイン州

第3章：ペンシルヴェニア州

杉並木ー折り重ねられた意味をめぐって 荒木康子

ワイエスの世界に導かれて 中村音代

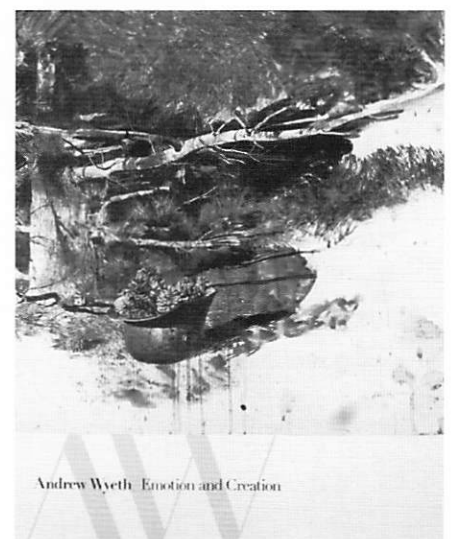
アルバム：メイン州、ペンシルヴェニア州〔撮影：高橋秀治〕

年譜／主要展覧会歴〔副田一穂〕

関連地図

主要文献目録〔副田一穂〕

出品目録



アンドリュー・ワイエス

所蔵作品展に関するもの

○「タイムスケープーもうひとつの時間ー」展

- ・鑑賞ガイド（展示作品・作家解説）A 3 二つ折
- ・アートの切り札

（所蔵作品を取り上げ、現代アートを分かりやすく紹介）カード式

○作品リスト	第 1 期	展示作品リスト	A 4 判 2 頁
	第 2 期	展示作品リスト	A 4 判 2 頁
	第 3 期	展示作品リスト	A 4 判 3 頁
	第 4 期	展示作品リスト	A 4 判 2 頁
	第 5 期	展示作品リスト	A 4 判 2 頁

○テーマ展「松藤孝一／湛える宙」 小冊子 B 5 判 6 項

○所蔵作品ワークシート（高学年以上向）

ミュージアムワークシート

「アメデオ・モディリアーニ《カリアティード》」A 4 判三つ折

○木村定三コレクション関係

- ・図 録『近現代美術 木村定三コレクション』B 5 判169頁
- ・紀 要『木村定三コレクション研究紀要』B 5 判63頁
- ・パンフレット 「熊谷守一」「小川芋銭」A 4 判三つ折
- ・鑑賞カード A 5 リーフレット

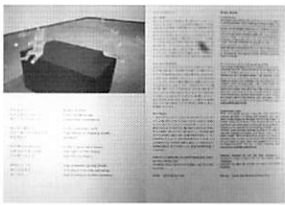
一般用

1. 小川芋銭 《沼四題 小蝦網》
2. 村上華岳 《仏立像》
3. 熊谷守一 《心月輪》
4. 熊谷守一 《石亀》
5. 熊谷守一 《からす》
6. 桂 ゆき 《猫》
7. 香月泰男 《ナホトカ》
8. 香月泰男 《海（ベチカ）》
9. 椿 貞雄 《菊子像》
10. 小林研三 《小鳥達よ夕暮にやすらかなまどいを「小さい旅」より》

子供用（各作品について小 1～3 用、小 4～6 用の二種）

1. 桂 ゆき 《猫》
2. 小林研三 《小鳥達よ夕暮にやすらかなまどいを「小さい旅」より》
3. 熊谷守一 《雨水》

○学校団体鑑賞の手引き A 3 判二つ折



「松藤孝一／湛える宙」



所蔵作品ワークシート



木村定三コレクション
近現代美術 研究紀要



木村定三コレクションパンフレット



学校団体鑑賞の手引き



「アンドリュウ・ワイエス」展鑑賞ガイド

○企画展に関するもの

鑑賞ガイド

「新収蔵記念 杉本健吉展」

章解説と作品解説 B 4 二つ折

「誌上のユートピア 近代日本の絵画と美術雑誌 1889～1915」

美術雑誌の歴史と周辺作家解説 B 4 二つ折

「ライオネル・ファイニンガー」

ファイニンガーの作家活動と用語解説 A 3 二つ折

「アンドリュー・ワイエス -創造への道程-」

作品・作家解説 A 3 二つ折

講演会・講座・シンポジウム等

企画展ごとに、研究者や作家あるいは学芸員などが記念講演を行った。

○記念講演会

新収蔵記念 杉本健吉展：

① 4月19日（土）13：30～15：00

講師：吉川英明（吉川英治記念館長）

「吉川英治と杉本健吉 -新・平家物語を通じて」

152名

② 5月17日（土）13：30～15：00

講師：木本文平（碧南市藤井達吉現代美術館長）

「画家・杉本健吉の生涯」

114名

誌上のユートピア 近代日本の絵画と美術雑誌 1889-1915：

① 7月5日（土）13：30

講師：池田祐子（京都国立近代美術館主任研究官）

「琳派そして西洋との出会い -モダンデザインの先駆者神坂雪佳」

80名

ライオネル・ファイニンガー：

① 11月17日（土）13：30～15：00

講師：宮下誠（國學院大学教授）

「ファイニンガーとクレイ -音楽から造形へ」

89名

アンドリュー・ワイエス -創造への道程-：

① 1月10日（土）13：30～15：00

講師：高橋秀治（愛知県美術館美術課長）が下記講師の代りに実施。

ヴィクトリア・ワイエス（アンドリュー・ワイエスの孫）

「私の祖父、アンドリュー・ワイエス」

180名

特集展示 片岡球子展：

9月6日（土）13：30～15：00



杉本健吉展記念講演会



誌上のユートピア展記念講演会



ライオネル・ファイニンガー展記念講演会



アンドリュー・ワイエス展記念講演会



片岡球子展記念講演会

講 師：山梨俊夫（神奈川県立近代美術館長）

「噴火する個性 片岡球子の人と芸術」

91名

○公開シンポジウム

特集展示 受け継がれる木村定三コレクション

①10月25日（土）13：30～17：00

講 師：三浦定俊（独立行政法人国立文化財機構東京文化財研究所保存修復
科学センター名誉研究員）

「科学の目で見た日本の伝統的な顔料」

講 師：半田昌規（半田九清堂／国宝修理装演師連盟常務理事）

「《阿弥陀三尊来迎図（木村定三コレクション）》の修理によってもたらされた情報」

講 師：谷口耕生（奈良国立博物館）

「《阿弥陀三尊来迎図》様式の変遷」

討 論 会：「《阿弥陀三尊来迎図（木村定三コレクション）》は

いつ作られたのか。」 75名

講 師：三浦定俊・半田昌規・谷口耕生



公開シンポジウム



タイムスケープ展 ワークショップ

○ワークショップ

所蔵作品展 タイムスケープ：

①8月17日（日）11：00～17：00（時間内に数回実施）パフォーマンス

講 師：ジミー・キンリー（アーティスト）

「ワンデー・スカルプチャー」

②8月17日（日）14：00～16：00

講 師：青田真也、川見俊、小杉滋樹、タン・ルイ（アーティスト）

「裏・夏休み なにかしら作ってみよう」

30名



「ワイエス・ワイ!!!」

アンドリュー・ワイエス -創造への道程-

鑑賞ワークショップ

①1月24日（土）10：00～12：00

講 師：現職教諭

「ワイエス・ワイ!!!」 小学1～3年生

18名

②1月24日（土）14：00～16：00

「かさかさを絵を描こう！」 小学4年生～中学生

19名

講 師：現職教諭

③1月25日（日）13：00～16：00

「鉛筆デッサンをしよう。」 高校生

33名

講 師：現職教諭



「かさかさを絵を描こう！」



「鉛筆デッサンをしよう。」

○展示解説会（ギャラリートーク、スライドトーク）

所蔵作品展 コレクショントーク

- 11月14日（金）18：30～19：30 深山主任学芸員 11名
- 12月6日（土）10：30～11：30 藤島主任学芸員 25名
- 2009年
- 1月23日（金）18：30～19：30 鯨井主任学芸員 12名
- 2月14日（土）10：30～11：30 深山主任学芸員 6名

特集展示「片岡球子展」ギャラリートーク（各回11：00～11：40）

- 8月28日（木）深山主任学芸員 16名
- 9月18日（木）深山主任学芸員 12名
- 10月4日（土）深山主任学芸員 12名

特集展示「受け継がれる木村定三コレクション」スライドトーク・ギャラリートーク

- 10月24日（金）18：00～19：30
- 講師：竹上幸宏（修美修復部部长）
- 「ある仏画の修理（《愛染明王像》の修理報告）」 18名
- 10月26日（日）11：00～12：30
- 講師：加藤陽子（修美修復部課長）
- 「ある経典の修理（《紺地金銀泥解脱道論經》の修理報告）」 28名
- 11月29日（土）14：00～15：30
- 講師：大森育子（文化財保存修復課課長）
- 「ある仏画の修理（《春日宮曼荼羅図》の修理報告）」 25名



コレクショントーク



特集展示「受け継がれる木村定三コレクション」ギャラリー・トーク

各種プログラムなど

小・中・高の先生方との鑑賞学習交流会

月日	主な内容	発表者	参加者数
4月19日 15：30～	「『わあ』から始まる制作」	林 成子 （元東海市立 明和小学校教諭）	29
	「新収蔵記念 杉本健吉」展	深山主任学芸員	
7月5日 15：30～	「鑑賞プログラムの一提案 [めかくし探検隊]」	松村淳子 （名古屋芸術大学卒業生）	27
	「誌上のユートピア 近代日本の絵画と美術雑誌」展	鯨井主任学芸員	
8月9日 15：30～	「夏休み子ども鑑賞会の説明及び意見交換」	藤島主任学芸員	20
	「タイムスケープ -もうひとつの時間-」展	中村学芸員	
11月1日 15：30～	「第32回 INSEA（国際美術教育学会） 世界大会2008 in 大阪 [こころ+メディア+伝統] での発表及び見学についての報告」	藤田雅也 （名古屋経済大学短期 大学部保育科専任講師）	32
	「ライオネル・ファイニンガー」展	大島学芸員	
(2009年) 1月17日 14：00～	「美術館・大学と連携した美術教育」 -高文連実技講習会と 愛知スーパーハイスクールの実践-」	高橋承一 （愛知県立 岩倉総合高等学校教諭）	103
	「アンドリュース・ワイエス -創造への道程-」展 「学校への寄贈カタログ受渡し」	高橋美術課長	

鑑賞学習ワーキンググループの活動

月日	主な内容	参加者数
4月19日 16:45～	○鑑賞学習交流会終了後 ○ワーキンググループの基本的な活動について ○参加者自己紹介	19
5月17日 15:00～	○「国立美術館の鑑賞教材」DVDの鑑賞及び討議 ○愛知県美術館バック（仮）について	14
6月14日 15:00～	○学校教育の中での美術教育について ー静岡県高等学校美術・工芸教育研究会での取り組みー （松浦澄江（元静岡県立高校教師））	18
7月5日 16:45～	○鑑賞学習交流会終了後 ○前回の発表を振り返る ○愛知県美術館バック（仮）について	19
8月9日 15:00～	○「くらべてみよう 岩倉総合高校の実践」ーSHS（スーパーハイスクール）プロジェクトについて（高橋承一（岩倉総合高校教諭））	12
9月6日 15:00～	○所蔵作品のためのギャラリートーク試案（夏休み子ども鑑賞会を受けて） ○愛知県美術館バック（仮）、当館作成ワークシートへの意見交換	15
10月8日 15:00～	○ワイエス展関連事業 鑑賞ワークショップ、鑑賞ガイド、鑑賞補助教材についての討議	18
11月1日 16:45～	○鑑賞学習交流会終了後 ○ファイニング展での団体鑑賞で使用したワークシートについて ○11月12日開催「造形研究会」のご案内 ○ワイエス展関連事業 鑑賞ワークショップ、鑑賞ガイド、鑑賞補助教材についての意見交換	18
12月6日 15:00～	○ワイエス展関連事業 鑑賞ワークショップ、鑑賞ガイド、鑑賞補助教材についての意見交換 ○所蔵作品展ギャラリートーク（深山主任学芸員）	15
（2010年） 1月17日 16:45～	○鑑賞学習交流会終了後 ○ワイエス展関連 鑑賞ワークショップのためのギャラリートーク（浅尾知子（草平小学校教諭）、藤澤蘭子（常滑西小学校教諭）、石原則和（千種高校教諭））	21
2月7日 15:00～	○ワイエス展関連 鑑賞ワークショップ報告会	17
3月7日 15:00～	○美術館ホームページへのワイエス展関連 鑑賞ワークショップ実施報告の掲載について ○来年度、鑑賞学習ワーキンググループのスケジュール及び内容について	21

担 当：藤島主任学芸員、近藤学芸員

児童、生徒を対象とした鑑賞教育の実施

○夏休み子ども鑑賞会（あいち子ども芸術大学2008）

実施日時・対象・参加者数〔午前：10：30～12：00 午後：14：00～15：30〕

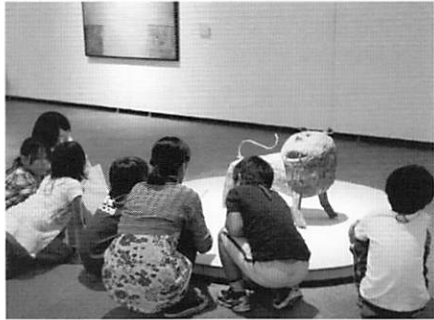
8月8日（金）午前：小学3～4年生 20名／午後：小学5～6年生 20名
8月9日（土）午前：小学1～2年生 18名／午後：小学3～4年生 25名
8月20日（水）午前：小学3～4年生 17名／午後：小学5～6年生 14名
8月21日（木）午前：小学1～2年生 16名／午後：中学生 6名
8月22日（金）午前：小学1～2年生 25名／午後：小学5～6年生 5名

会 場：愛知県美術館

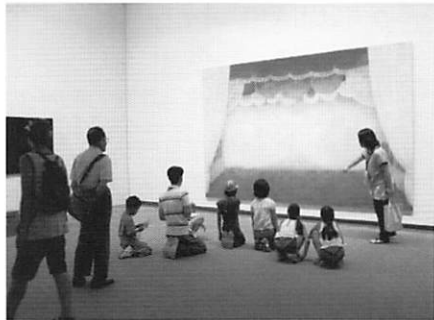
概 要：愛知県美術館で開催した「タイムスケープ」展を中心に、作品と友達になれる鑑賞会を実施した。美術館に訪れたことのない人や、美術に対して抵抗を感じる人にも楽しく鑑賞できるように、美術館スタッフと、作品をじっくり観察したり、絵について話し合ったりして、作品のいいところや不思議なところに気づきながら作品鑑賞の面白さを体験した。



鑑賞学習ワーキンググループ



夏休み子ども鑑賞会



夏休み子ども鑑賞会

講 師：愛知県美術館学芸員、学生アシスタント、現職教諭
企 画：愛知芸術文化センター愛知県美術館
協 力：名古屋大学文学部美学美術史研究室、名古屋芸術大学美術学部美術文
化学科、愛知県立芸術大学美術学部美術科
担 当：中村学芸員、副田学芸員、近藤学芸員、藤島主任学芸員

視覚に障害のある人を対象としたプログラム

企画展「アンドリュウ・ワイエス」展に際して、新たに制作した立体コピーと
点字シートを用いながら鑑賞した。

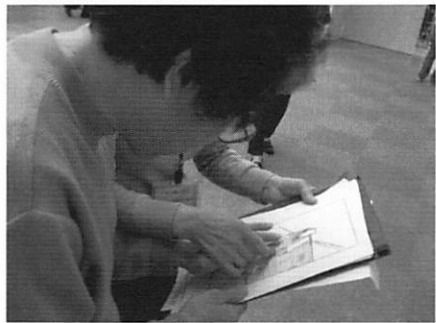
2月26日（金） 22名（午前：17名、午後：5名）
2月28日（日） 10名（午前：8名、午後：2名）
担 当：深山主任学芸員、中村学芸員



視覚に障害のある人を対象としたプログラム

各種団体鑑賞への対応（学芸・一般）

	小	中	高	大	専門	養護	一般	合計
総人数	1,138	693	541	1,423	163	0	1,708	5,666
総件数	22	36	12	24	4	0	41	139
学芸対応件数	16	19	7	17	3	0	32	94
学芸対応人数	819	335	188	1,125	134	0	1,416	4,017



視覚に障害のある人を対象としたプログラム

博物館実習生の受入れと指導

受入れ人数：11名

（愛知教育大学・教育学部、愛知県立芸術大学・美術学部、愛媛大学・教育学部、
金沢美術工芸大学・美術学科、京都大学大学院、東京大学・文学部、多摩美術大
学・美術学部、名古屋芸術大学・美術学部、立命館大学・文学部）



博物館実習

実習カリキュラム

7月22日（火）
ガイダンス： 藤島主任学芸員
愛知県美術館の沿革・組織・職掌の概要、
美術館を取り巻く状況・課題、収集と公開： 村田企画業務課長
7月23日（水）
施設見学： 藤島主任学芸員
企画展について（構想から実施まで）： 古田主任学芸員
教育普及について： 藤島主任学芸員・近藤学芸員
7月24日（木）
作品の保存・修復について： 長屋主任学芸員
実習1：作品の点検（計測・調書作成）： 長屋主任学芸員
実習2：作品の展示と照明： 高橋美術課長、深山主任学芸員、藤島主任学芸員
アートドキュメンテーション： 鯨井主任学芸員
7月25日（金）
実習3：作品の取り扱い（軸・卷子）： 深山主任学芸員、藤島主任学芸員
広報について（ホームページなど）： 森学芸員
7月26日（土）

課題発表： 村田企画業務課長、深山主任学芸員
 総評、実習総括： 藤島主任学芸員、近藤学芸員

美術館研修生の受入れと指導

美術館研修生

平成20年度は、名古屋大学の大学院生4名を受入れ、1週間に1日を基本として長期的な研修を行った。

- ・研修期間 2008年6月1日～2009年3月31日
- ・研修内容 藤井達吉コレクション・木村定三コレクションの資料整備、企画展に関わる実務、教育普及事業の実務

現職教諭研修

「社会体験研修」として、県立大府養護学校教諭1名を受け入れた。

- ・研修期間 2008年8月8日（金）～8月22日（金）
- ・研修内容 「夏休み子ども鑑賞会」の運営業務（実施準備、鑑賞指導）

10年経験者研修

「小・中学校図画工作・美術 10年経験者研修」として、5名の教諭（半田市立亀崎小、愛教大附属名古屋小、瀬戸市立水無瀬中、清須市立清州中、安城市立篠目中）を受け入れた。

- ・研修月日 2008年8月8日（金）
- ・研修内容 「夏休み子ども鑑賞会」見学、美術館教育活動についての講義、施設見学

美術館友の会との協力

○友の会 特別鑑賞会

2008年4月17日（木）	昼	杉本健吉展	深山主任学芸員	18名
	24日（木）	夜	杉本健吉展	深山主任学芸員
6月19日（木）	昼	誌上のユートピア展	鯨井主任学芸員	22名
	夜	誌上のユートピア展	鯨井主任学芸員	21名
8月21日（木）	夜	タイムスケープ展	中村学芸員	16名
	28日（木）	昼	タイムスケープ展	中村学芸員
10月23日（木）	昼	ライオネル・ファイニンガー展	古田主任学芸員	15名
	夜	ライオネル・ファイニンガー展	古田主任学芸員	20名
2009年1月8日（木）	昼	アンドリュウ・ワイエス展	高橋美術課長	24名
	夜	アンドリュウ・ワイエス展	高橋美術課長	23名

○所蔵作品展鑑賞会

2008年11月14日（金）	所蔵作品展（一般入場者と合同）	深山主任学芸員	11名
12月6日（土）	所蔵作品展（一般入場者と合同）	藤島主任学芸員	25名
2009年2月25日（水）	所蔵作品展（会員限定）	深山主任学芸員	43名

○講演、講座



アンドリュウ・ワイエス展 特別鑑賞会



ナイトカフェ

2008年 5月18日（日）西洋美術講座

ヴァトーとプーシェの絵画（名古屋芸術大学准教授 栗田秀法） 47名

6月28日（土）西洋美術講座

シャルダンとフラゴナールの絵画（名古屋芸術大学准教授 栗田秀法） 46名

11月 8日（土）東洋美術講座

ガンダーラとパーミヤンの美術（静岡県立美術館長 宮治 昭） 26名

○その他の事業

2008年 5月23日（金）他館鑑賞会（三重県立美術館・金比羅宮書院の美展）20名

6月 8日（日）総会特別講演「円山応挙がなんぼのもんじゃ」

（同志社大学教授 狩野博幸） 102名

9月 5日（金）ナイトカフェ

（愛知芸術文化センター10階ウルフギャングバック）76名

12日（金）ナイトカフェ

（愛知芸術文化センター10階ウルフギャングバック）84名

10月25日（土）愛知県美術館公開シンポジウム 23名

11月 2日（日）テーマ展「松藤孝一」レクチャー&ギャラリートーク21名

2009年 2月14日（土）他館鑑賞会（碧南市藤井達吉現代美術館・

東京国立近代美術館工芸館所蔵人形展）10名

2月25日（水）懇親会

（愛知芸術文化センター10階ウルフギャングバック）46名



サポート活動：所蔵品管理

○友の会サポート活動

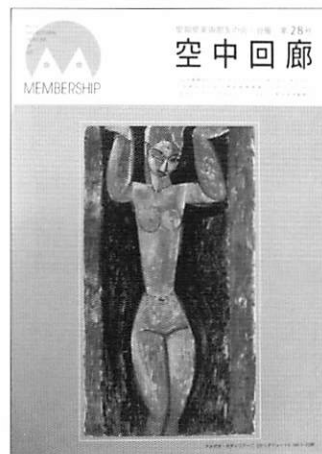
	内 容
所蔵品管理	毎月第2・第4水曜日に作業（のべ24回）
モニター部会	企画展毎に各1回（のべ5回）
資料発送業務（友の会）	企画展ごとに展覧会と友の会事業案内の発送（のべ7回）
資料発送業務（美術館）	企画展ごとに展覧会のちらし・ポスターの発送（のべ5回）
友の会ホームページ	ホームページ更新
講座・イベント等の準備と受付	会場設営および片付け、受付業務（のべ16回）

※延べ729名の協力

○会報『空中回廊』の発行

2008年 9月 27号：企画展紹介、新学芸員紹介、会員活動紹介、友の会特別講座
所蔵作品紹介 サポート部会活動内容紹介

2009年 3月 28号：企画展紹介、会員活動紹介、所蔵作品紹介 サポート部会活
動内容紹介



所蔵作品に関すること

○村田真宏

- ・「木村定三コレクションの大量寄贈について
ー受け入れと整理ー」
『第23回学芸員研修会報告書美術館・作品保存環境の現在』
全国美術館会議 2009年3月21日

○鯨井秀伸

- ・『近現代美術 木村定三コレクション』（編著）2008年12月
- ・『木村定三コレクション研究紀要 2008年度』（編集）
2009年3月
- ・「円筒印章のイメージ」、
「円筒印章・スタンプ印章類目録」
『木村定三コレクション研究紀要 2008年度』2009年3月
- ・『木村定三コレクション 近代の美術』（ビデオ）2008年9月
- ・「小川芋銭 木村定三コレクション」（パンフレット）
2009年3月
- ・「熊谷守一 木村定三コレクション」（パンフレット）
2009年3月

○鯨井秀伸、古田浩俊、藤島美菜

- ・「木村定三コレクション鑑賞ガイド」（編集）2009年2月

○馬淵美帆

- ・「伊藤若冲の歌仙図についてー俳諧文化・光琳画・豆腐愛好との関わりからー」（学会発表）美術史学会東支部例会
2009年3月29日

○中村史子・副田一穂・近藤令子

- ・「アートの切りふだ」（鑑賞ガイド）（執筆、制作）2008年8月

展覧会等に関すること

○高橋秀治

- ・（企画展）「アンドリュー・ワイエス 創造への道程」『アンドリュ
ー・ワイエスー創造への道程ー』 2008年11月
- ・「A・ワイエス氏を悼む 底流に質素な建国時代」
『中日新聞』 2009年1月22日夕刊
- ・「A・ワイエス氏を悼む 時間を凝縮させた深み」
『読売新聞』 2009年1月20日朝刊
- ・「追悼 アンドリュー・ワイエス 時代に迎合しない画家が描い
た心に響く世界」『美術の窓』 2009年3月号

○鯨井秀伸

- ・（企画展）「主要作家解説」、「主要用語解説」『生活と芸術ーアーツ
&クラフツ展 ウィリアム・モリスから民芸まで』
2008年9月

○古田浩俊

- ・（企画展）「日本のファニングー《夕暮れの海Ⅰ》を中心にー」、
「作品解説」（執筆・翻訳）『ライオネル・ファイニンガ
ー』 2008年7月
- ・（企画展）「絵画ー社会への眼差しー」、「作家解説」『アヴァンギャ
ルド・チャイナー〈中国当代美術〉二十年ー』2008年
8月
- ・（企画展）「主要用語解説」『生活と芸術ーアーツ&クラフツ展 ウ
ィリアム・モリスから民芸まで』 2008年9月

○森 美樹

- ・（企画展）「章解説 1章：自画像、2章：メイン州」、「作品解説」、
「オルソン・ハウスをめぐる物語」（エッセイ）、『アン
ドリュウ・ワイエスー創造への道程ー』2008年11月

- ・（企画展）「主要作家解説」、「主要用語解説」『生活と芸術ーアーツ
&クラフツ展 ウィリアム・モリスから民芸まで』
2008年9月

- ・（テーマ展）「ガラスの赤ちゃん」『松藤孝一 湛える街』2008年10月

○中村史子

- ・（企画展）「中国現代美術用語集」、「作家解説」『アヴァンギャルド
・チャイナー〈中国当代美術〉二十年ー』2008年8月

○大島徹也

- ・（企画展）「作品解説」（執筆・翻訳）、「ファニングーの美術教育理
論」（翻訳）『ライオネル・ファイニンガー』2008年7月
- ・「ライオネル・ファイニンガー展ークリスタルの輝きを持つ男」
『中日新聞』2008年11月27日夕刊
- ・（企画展）「主要作家解説」、「主要用語解説」『生活と芸術ーアーツ
&クラフツ展 ウィリアム・モリスから民芸まで』
2008年9月

○副田一穂

- ・（企画展）「作品解説」、「年譜、主要展覧会歴、主要文献目録」（編集）
『アンドリュウ・ワイエスー創造への道ー』2008年11月

教育普及活動に関すること

○高橋秀治

- ・「愛知県美術館における教育普及活動ー学校との連携ー」
『教育美術11月号』2008年11月
- ・「鑑賞における学校と連携」（講演）
『平成20年度愛知県造形教育研究会総会／第46回愛知県造形教
育研究協議会』愛知芸術文化センター12階アートスペースA
2008年11月12日

○藤島美菜

- ・所蔵作品鑑賞補助資料 ミュージアム・ワークシート「アメデ
オ・モディリアーニ《カリアティード》」（編集）2008年12月
- ・移動美術館 教師との連携による鑑賞学習の研究 教材編集お
よびワークショップ実施 2008年11月

○藤島美菜、近藤令子

- ・企画展 教師との共同による鑑賞ワークショップの手法研究
教材編集およびワークショップ実施 2009年1月

作品の保存等に関すること

○長屋菜津子

- ・「ある美術館のIPMプログラム」（発表）平成20年度第2回 市
民共同型IPM活動に関する研究会（博物館危機管理としての
市民共同型IPMシステム構築に向けての基礎研究 平成19～
20年度科学研究（基盤研究C）19611024）九州国立博物館 2008
年8月
- ・同上、報告書 2009年3月

美術館運営に関すること

○村田真宏・古田浩俊・大島徹也

- ・各企画展ごとにアンケート調査を行い、事業評価を行った。

あいちトリエンナーレに関すること

○副田一穂

- ・「三沢厚彦インタビュー」『あいちトリエンナーレ2010プレイベント 現代美術の発見 I アニマルズ in AAC－三沢厚彦の世界』 2009年3月

その他

○高橋秀治

- ・「藤雅三《破れたズボン》再発見報告」
東京文化財研究所 企画情報部研究会 2008年7月23日
- ・「研究ノート 藤雅三《破れたズボン》発見報告」
『美術研究』396号 東京文化財研究所2008年11月
- ・「藤雅三《破れたズボン》」『中日新聞』2008年12月4日夕刊
- ・「発見！ 藤雅三の油彩画《破れたズボン》
(1888年フランス、サロン入選作)」『美術の窓』2009年3月号

○森美樹

- ・「絵画、涙、照明、椅子」(翻訳、ジョン・ウォルシュ著)『美術館は誰のものか 美術館と市民の信託』(ジェイムズ・クノー編、村上博哉監訳) プリュッケ 2008年10月

○中村史子

- ・「ドイツ写真の子どもたち－ルックスの現在形－」
『Cross Section』第1巻(京都国立近代美術館研究論集)
2008年7月
- ・「アーカイブと写真の現在－二つのアーカイブから浮かび上がること」『写真空間2 写真の最前線』青弓社 2008年
- ・「傾いた男 木村充伯個展」(展評)『REAR』20号 2009年

○大島徹也

- ・“The Figure Reemerging: Jackson Pollock's Cut-Outs, 1948-1956.” Ph.D. diss., The Graduate Center of the City University of New York, 2008.
- ・“Jazz / les papiers découpés de Matisse et Jackson Pollock.” Dans ils ont regardé Matisse: Un réception abstraite, États-Unis / Europe, 1948-1968. Éd. Éric de Chassey et Émilie Ovaere. Cat. exp. Le Cateau-Cambrésis, France: Musée départemental Matisse, 2009.
- ・「ポロックとデ・クーニングーそのライバル関係と相互影響」
『愛知県美術館研究紀要』15号 2009年3月
- ・ドナルド・ウィガル『美の20世紀⑮ーポロック』山梨俊夫監訳、大島徹也訳 二玄社 2008年
- ・「ニューヨークのアートシーン」(講義)『はじめてアート講座』
愛知県文化情報センター 2008年7月18日

○副田一穂

- ・「20世紀美術を見る」(講義)『はじめてアート講座』愛知県文化情報センター、2008年7月11日
- ・「ジョアン・ミロの作品における「絵画の殺害」」修士学位論文 東京大学大学院人文社会系研究科美術史学専門分野 2008年12月
- ・「〈夢の絵画〉から「絵画の殺害」へージョアン・ミロとシュルレアリスム」『愛知県美術館研究紀要』15号、2009年3月

2008（平成20）年美術館ギャラリー利用状況

1 展示室利用状況

(単位：日数)

区分 月別	日 利 用 可 数 能 a	利 用 日 数 b	利 用 率 b／a	展 示 室 別 利 用 日 数											
				A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	審査保管室	
														第 1	第 2
1	24	24	100.0	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	25	14
2	24	24	100.0	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	18	12
3	26	26	100.0	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	9	15
4	26	26	100.0	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	24	22
5	27	27	100.0	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	19	14
6	22	22	100.0	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	12	2
7	26	26	100.0	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	9	10
8	27	27	100.0	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	9	18
9	24	24	100.0	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	7	22
10	27	27	100.0	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	22	10
11	26	26	100.0	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	6	18
12	23	23	100.0	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	10	14
計	302	302	100.0											170	160

2 展覧会種別利用状況及び入場者数

区分 月別	展覧会種別利用件数（件）									入 場 者 数 (人)
	総合展	絵画展	彫刻展	工芸展	書道展	デザイン展	写真展	版画展	計	
20年1月	5	1	0	0	1	1	0	0	8	126,219
2月	3	0	0	1	0	0	0	0	4	10,628
3月	4	3	0	1	7	1	1	0	17	35,969
4月	5	9	0	1	5	0	0	0	20	49,133
5月	5	3	1	0	1	0	0	1	11	32,342
6月	7	3	1	0	2	0	0	0	13	35,338
7月	5	6	1	2	6	0	3	0	23	43,652
8月	8	1	0	0	2	0	0	0	11	39,191
9月	7	7	0	1	4	0	1	0	20	44,594
10月	8	2	0	1	1	1	0	0	13	35,261
11月	4	4	0	2	5	0	0	0	15	25,880
12月	5	5	0	0	5	2	0	0	17	31,624
計	65	45	4	8	39	5	5	2	173	509,831

（注）利用件数及び入場者数は、展覧会会期の初日に属する月で整理した。

平成20年上半期展示室利用スケジュール

月	12 月											1 月											2 月																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
日	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
曜	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
A	休 年 末 年 始											1 '08 今日の 書展		5 自由美術展					9 水彩協会展					12					日 展					東 海					展					13 名古屋造形 芸術大学卒業																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
B												2 東海かな 書道会展					C	6 名古屋芸術大学 メディア造形学部 デザイン学科 卒業制作作品展					D																										10 愛知県勤労者 美術展					E	11 連綿横書 国際書展					F	14 新進アーティストの 発見 in おいち																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
G1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
G2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
H																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
I	3 関輝会展		7 大潮展					10 愛知県勤労者 美術展					11 連綿横書 国際書展					14 新進アーティストの 発見 in おいち																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
J1	4 中京大学 卒業展		8 日本デザイナー芸術 学院卒業制作展					11 連綿横書 国際書展					14 新進アーティストの 発見 in おいち																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
J2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
月	2 月											3 月											4 月																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
日	26	27	28	29	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
曜	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
A	15 名古屋芸術大学 卒業制作展											17 中部行動展					21 愛知県立芸術大学 卒業・修了制作展					24 謹慎書道会中部展					29 春季白土会展					34 独立展					37 白日展名古屋展					40 中部新制作絵画展					46 美術文化展																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
B																																																				18 公募ふちなみ展					C	25 近代水墨画院展					D	31 玄之会書展					E	35 公募東海書道 藝術院展					F	41 興文会書展・ 役員・同人展																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
G1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
G2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
H																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
I	19 国際書画中部展		22 中部女流書展					27 牛刀書道展					32 中部二元展					36 青矢展					39 日本現代工芸美術展 東海展					43 中部女流美術 春仲会展					47 中部一水会展																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
J1	16 愛知県立瀬戸産業 高等学校 陶芸専攻科修了制作展		20 愛知産業大学建築学 科卒業研究制作展					23 写真公募展					28 書玄展26 書玄展					33 橙人展					36 青矢展					39 日本現代工芸美術展 東海展					44 星の輪会展					48 かな書道草心会 東海展																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
J2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
月	4 月											5 月											6 月																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
日	29	30	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
曜	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
A	49 水彩連盟展											54 以文会書展					58 光風会展					60 国展 名古屋展					63 春陽展					65 「日本の書展」 中部展					68 中日書道展					70 日府展					75 モダンアート 名古屋展																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
B																																																				50 創炎展					C	55 新世紀 名古屋展					D	59 ミレー友好協会展					E	61 グループ紅水彩画展					F	62 バステル画展					G1	67 アートミラ '21展					H	69 グループウム展					I	74 ボン・デ・ ザール展																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
G1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
G2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
H																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
I	52 彩日会展																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															

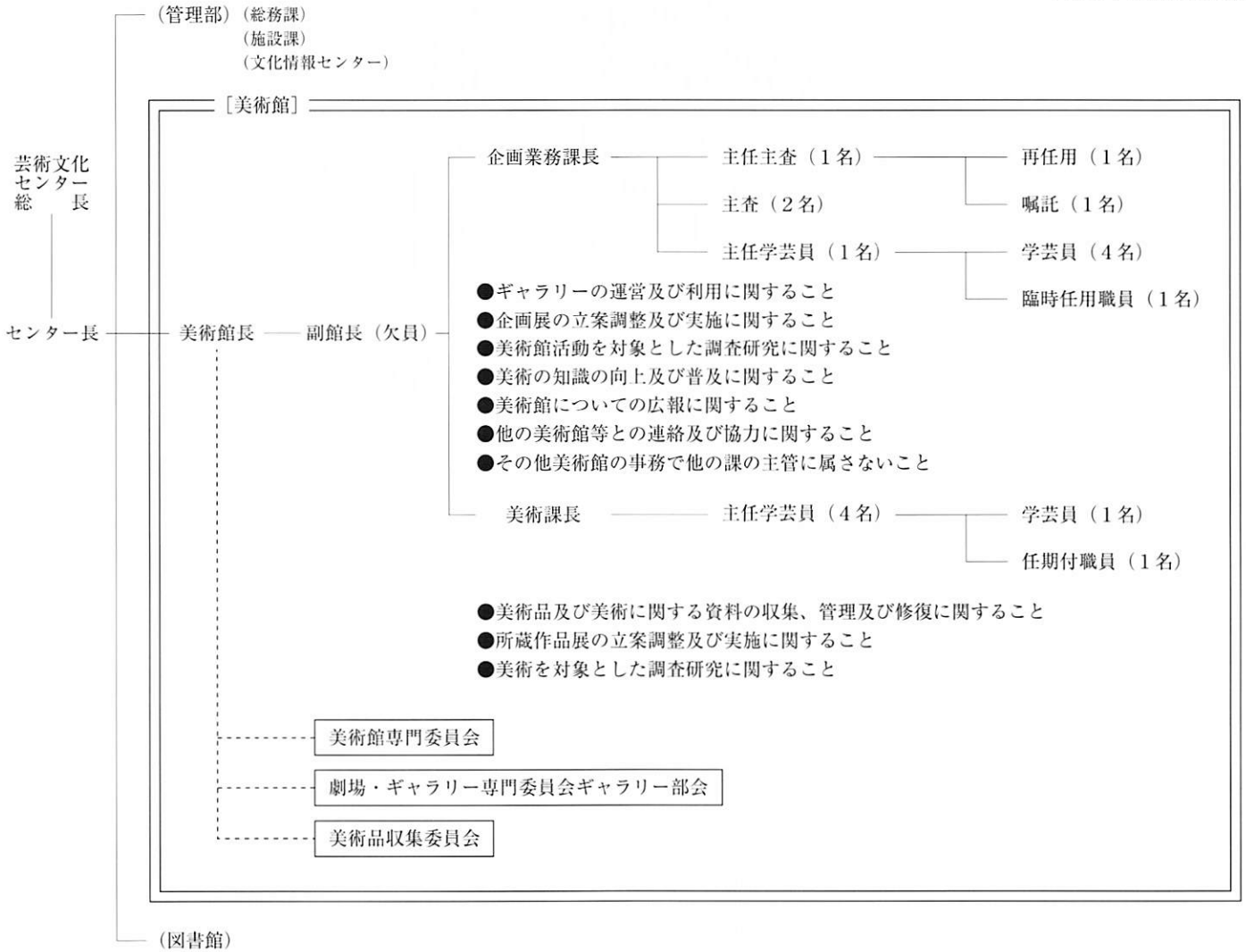
平成20年下半期展示室利用スケジュール

[illegible]

組織および職員構成

1. 組織図

平成21年 3月31日現在



2. 愛知県美術館職員名簿

館長	牧野研一郎	技師（学芸員）	大島徹也
館長補佐兼企画業務課長		技師（学芸員）	副田一穂
	村田真宏	臨時任用（学芸員）	近藤令子
主任主査	高木久子	美術課長	高橋秀治
主査	水野知正	主任学芸員	鯨井秀伸
主査	小泉誠子	主任学芸員	深山孝彰
再任用	北倉康永	主任学芸員	長屋菜津子
嘱託	石川澄江	主任学芸員	藤島美菜
主任学芸員	古田浩俊	主任（学芸員）	馬淵美帆（育児休業）
技師（学芸員）	森 美樹	任期付（学芸員）	池田素子
技師（学芸員）	中村史子		

関係委員会名簿

愛知県美術館専門委員会委員名簿

平成21年 3 月31日

氏 名	職 名 (所 属)
◎ 磯 見 輝 夫	愛知県立芸術大学長
○ 江 本 菜穂子	名古屋造形芸術大学教授
太 田 幸 一	愛知県美術館友の会前会長
黒 田 亮 子	美術評論家
寺 田 志 郎	愛知県立明和高等学校長
野々川 房 子	日本メナード化粧品(株)常務取締役 (メナード美術館アート・プロデューサー)
古 川 秀 昭	岐阜県美術館長
三 浦 定 俊	独立行政法人国立文化財機構 東京文化財研究所名誉研究員
薬師寺 健 治	N H K 名古屋放送局事業部長
渡 辺 豊 彦	名古屋市美術館長

◎は委員長、○は委員長代理 (50音順)

劇場・ギャラリー専門員会（ギャラリー部会）委員名簿

氏 名	職 名 (所 属)
安 藤 滴 水	書家・中部日本書道会理事長
仲 野 泰 裕	愛知県陶磁資料館副館長
櫃 田 伸 也	洋画家・東京芸術大学教授
塚 本 鍼 夫	財団法人愛知県文化振興事業団常務理事兼事務局長
◎ 松 井 和 弘	日本画家・創画会会員・愛知みずほ大学教授
水 谷 栄太郎	名古屋市博物館副館長
水 谷 た き	彫刻家

◎は部会長 (50音順)

愛知県美術館美術品収集委員会委員名簿

氏 名	職名(所属)
尾 崎 正 明	東京国立近代美術館特任研究員 (日本近代美術)
◎ 黒 田 亮 子	美術評論家 (西洋美術、日本近代美術)
田 中 淳	東京文化財研究所企画情報部長 (日本近・現代美術)
山 梨 俊 夫	神奈川県立近代美術館長 (近現代美術)
吉 田 俊 英	奈良県立美術館副館長 (日本近世・近代美術)

◎は委員長 (50音順)

愛知県美術館年報2008年度版

編集
発行

表紙デザイン・本文レイアウト
印刷

2010年 3 月発行
愛知県美術館
愛知県美術館
名古屋市東区東桜1－13－2
〒461-8525
P H O N E : 052-971-5511
F A X : 052-971-5604
松田幸司、山口浩司
栄印刷株式会社

Annual Report 2008, Aichi Prefectural Museum of Art
Edited by the Aichi Prefectural Museum of Art
Published by the Aichi Prefectural Museum of Art
1-13-2 Higashisakura, Higashiku, Nagoya 461-8525 Japan
Designed and layouted by Koji Matsuda, Koji Yamaguchi
Printed by Sakae Printing Co.,Ltd.
©2010
Printed in Japan